

地区ニュース 第3号

明るい未来へ

知性 奉仕

千葉

ライオンズクラブ

友愛 変化

千葉県独立30周年



“滑走路脇で空高く”

第2回青少年健全育成 新春凧あげ大会

4-AR2Z・4-BR・3R ライオンズクラブ主催 海上自衛隊 下総航空基地



ライオンズクラブ国際協会 333-C地区 (千葉県)

ライオンズの誓い

われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、
平和と自由を守り、社会奉仕に精進する。

333-C地区ライオンズ憲章

われわれは、ライオンズクラブ草創の原点にたちかえり、
その崇高な精神を信奉し、会員である誇りと自覚をもって、
ライオニズム永遠の発展に寄与するため、会員の総意を結集し、
ここに地区ライオンズ憲章を制定し、
その理想実現に邁進するものである。

1. 単位クラブの尊厳と自主性を尊重しよう。
2. 奉仕の根源は愛であることを確認し、
心をこめて精進しよう。
3. 友情によって相互理解と強固な団結をはかろう。
4. 組織の簡素合理化と経費の節減につとめよう。
5. グッドスタンディングとは、
積極的参加の意欲であることを理解し、
指導力の開発にはげもう。

INDEX



■題字:飯高 和子

書道家
千葉県市原市出身
千葉県立千葉高等学校卒
千葉大学教育学部卒
元千葉県立高等学校教諭
元市原市教育委員

所属会派

(財)毎日書道界審査会員
(財)書道芸術院理事
師匠 種谷 扇舟
市原コスモスライオンズクラブ所属



■写真提供■

L古川 勇(市原LC)
第2回青少年健全育成
新春風あげ大会

「ライオンズの誓い」「333-C地区ライオンズ憲章」

目次・表紙の写真・題字の作者紹介

国際会長メッセージ
333-C地区ガバナー
国際第二副会長候補者紹介
国際理事候補者紹介
国際理事候補者紹介
松戸グリーンLC CN15周年記念例会
市川LC結成50周年記念の集い
南房総LC青年支部発足式
第57回地区年次大会
第71回「緑と花のジャンボ市」
千葉県ライオンズクラブ・カンボジア支援プロジェクト(CLCPP)

L I O N Sを增強しよう

ガバナー公式訪問

4-AR RC L 志村 光永
4-BR2Z ZC L 海老原健治
5R RC L 岩沼 忠伺
9R 1Z ZC L 松本 幸史
2Z ZC L 四宮 英爾
10R RC L 渡邊 正雄

単県独立30周年記念論文入賞者発表

入賞者発表・論文講評
ライオンズクラブの明日を考える
ライオンズクラブの明日を考える
ライオンズクラブの明日を考える
333-C地区の根幹

クラブ活動報告

浦安LC (1R2Z)
行徳リバーサイドLC (1R2Z)
松戸ユウカリLC (2R1Z)
松戸みどりLC (2R1Z)
松戸東LC (2R2Z)
柏レインボーLC (3R1Z)
柏なの花LC (3R2Z)
船橋東LC (4-AR2Z)
船橋翼LC (4-AR2Z)
白井シニアLC (4-BR1Z)
八千代東LC (4-BR2Z)
千葉幕張メッセLC (5R1Z)
千葉東LC (5R1Z)
千葉若潮LC (5R2Z)
市原南LC (5R3Z)
成田グリーンLC (6R1Z)
下総LC (6R1Z)
四街道LC (6R1Z)
四街道順天LC (6R3Z)
銚子LC (7R1Z)
八日市場LC (7R2Z)
総武中央LC (7R2Z)
大栄LC (7R2Z)
光LC (7R2Z)
海上LC (7R3Z)
木更津LC (8R1Z)
木更津金鈴LC (8R1Z)
君津中央LC (8R2Z)
鴨川LC (9R2Z)
茂原LC (10R1Z)
東金LC (10R2Z)

複合地区年次大会案内
ライオンズパワーの結集

表紙裏

シドL スクラッグスⅢ 2
L 竹下 徳永 3
L 山田 實紘(美濃加茂LC) 4
L 秦 従道(仙台コアLC) 5
L 高田 順一(富山昭和LC) 6
L 高橋 順之 7
L 溝口 昭義 8
L 松本 幸史 9
L 鈴木 利一 10
L 林 護 12
L 平松 修實 13
14
15
16
17
18
18
19
L 竹下 徳永 20
L 松本 幸史 21
L 平山 佐吉 22
L 青木 孝 23
L 正木 守 24
浦安中央LC (1R2Z) 25
26
27
流山LC (2R2Z) 28
関宿LC (2R2Z) 29
柏沼南LC (3R2Z) 30
31
船橋さざんかLC (4-AR2Z) 32
33
34
35
千葉ネオLC (5R1Z) 36
37
38
39
成田平成LC (6R1Z) 40
栄町LC (6R1Z) 41
四街道中央LC (6R3Z) 42
43
東庄LC (7R1Z) 44
45
栗源LC (7R2Z) 46
干潟LC (7R3Z) 47
銚子ウエストポートLC (7R3Z) 48
袖ヶ浦LC (8R1Z) 49
上総LC (8R2Z) 50
51
房総勝浦LC (9R2Z) 52
上総一宮LC (10R1Z) 53
大網白里LC (10R2Z) 54
55

裏表紙裏

希望の光



ライオンズクラブ国際協会会長

シドL. スクラッグスIII

私が住むノースカロライナ州のアウターバンクには世界一高い煉瓦造りの灯台があります。1807年に建てられたハッテラス岬灯台は、2世紀以上にわたり、船乗りのための希望のシンボルとして存在してきました。

この灯台は、望みをすべて失くしたと思った何千人もの船乗りに進むべき方向を指し示し、船を安全な港へと導きました。

現代の船舶には最新の航行補助機があり、衛星システムが搭載されているにも関わらず、灯台は今もなお世界中の海岸で光を発しています。時を越え、進路が分からなくなった人々や助けを必要とする人々の象徴となり続けています。かつて、手作業によりランプを照らした灯台守はとうの昔に機械に取って代わられましたが、その明かりは今なお重要です。

ヘレン・ケラーは、困っている人々に明かりをもたらす手助けをしてくれるようライオンズに求めました。私たちはその呼びかけに他のどの組織もかなわない規模で応えました。そして、ライオンズの奉仕の明かりはこれまでも増して今日もさらに重要なものとなっています。

私たちの暮らしを向上させてくれた進歩は、語り尽くせないほど沢山あるにもかかわらず、人と人との交流の必要性に取って代わるものはないのです。

奉仕をしようと差し出される手の代わりとなるものは一切ありません。

ライオンズの会員一人ひとりが一筋の光を放っています。それは、それぞれの目に、笑顔に、そして行動に見て取ることができます。

「別の魂から発せられた一筋の光が、私の心を閉ざしていた暗闇に射しました。そうして私は自らを見つけ出し、私を封じ込めていた暗くて音のしない困りから抜け出すことが出来たのです」
— ヘレン・ケラー —

皆さんの会長としてお願いします。奉仕の光を明るく輝かして下さい。そして安全な場所とより良い明日を探し求めている恵まれない人々のために、光と希望の象徴となり続けようではありませんか。

「ライオンズこそ、より良い明日をもたらしてくれる人たちだと人々が頼りにしていることを、私はライオンズに気づいてほしいのです。ライオンズは、希望の光なのです」

— シドL. スクラッグスIII —

NEW「ライオンズ文化の形成」

— 第二四半期の報告 —

333-C地区ガバナー

L竹下 徳永



1. 25Z単位の公式訪問

残暑厳しい9月4日、前地区ガバナー・地区名誉顧問会議長L高田浩所属の3R2Zを皮切りに、初霜の12月12日に私の地元5R3Zを最後に無事終了することが出来ました。

- (1) Z単位のため、各クラブの実施事業・会員動静・課題・会計状況を直接理解できました。
- (2) 訪問は、キャビネット幹事L加島正男は100%出席、副幹事の3人体制で乗り切りました。
- (3) 各クラブの報告を聞かせて頂き、「継続・新規・見直し」と地道な活動が展開されていることに感動しました。

例えば、各種施設訪問・稚魚の養殖放流・入会者への□バッチ付け・行事における公共施設の利用・支部結成式の臨場感・青少年の健全育成・児童合唱団への支援・地域密着型の奉仕活動等々。

2. 地区年次大会記念講演

本県出身の宇宙飛行士山崎直子さんの2回講演が決定しました。(4月24日年次大会)

第1回 市原市内の小中高校生対象に開催。青少年に「夢」を持たせる。

第2回 ライオンズクラブ会員対象の講演。

「瑠璃色の地球も花も宇宙の子」 ご期待ください。(別ページ参照)

* R記念講演会は、3R(柏 5月5日・木曜日)、4-A・BR(習志野 5月1日・日曜日)、8R(木更津 6月11日・土曜日)、9R(館山 5月15日・日曜日)で開催予定です。

3. 会員増強の進捗状況

2月28日現在の会員数は、期首と比較して122名増加の3,633名です。

各クラブは「純増1名以上」の目標にご努力下さい。

EXTは、「花見川LC北支部」・「南房総LC青年支部」・「市原かずさLC」(11/3結成)

「君津プラチナLC」(2/19結成)・「市川シニアLC」(4/2結成)

“各クラブ1名純増”の進捗状況

+1名以上	±0名	-1名以下
51クラブ	41クラブ	43クラブ

あなたのクラブは、上記集計のどこにランクされますか？

4. 「単県独立30周年記念論文」の募集は大成功でした。12編の応募があり、去る1月26日に審査を終了しました。

作品中の主な内容は、◎30周年の歴史的回顧 ◎活力を失っているクラブへの提言 ◎IT化が飛躍的に進歩しており、ITを活用するクラブが増加している。◎このままではライオンズの明日について危惧を感じる。◎知性・友愛を踏まえての運営が必要。◎日本ライオンズは60年を経て組織疲労をきたしている 等々。入賞作品の全文は、本誌P.21～P.24に掲載しました。

5. Rの再編成

「4-AR、4-BR」の呼称は、「4R、5R」へと時計回りの原則で再編成しました。

また、5R「20クラブ 500名」を、1Z・2Zを6Rに、3Zを7Rに分離独立致します。

この再編成を一括して下記のように編成替え致します。

現行	1R	2R	3R	4-AR	4-BR	5-1・2Z	5-3Z	6R	7R	8R	9R	10R
改正	1R	2R	3R	4R	5R	6R	7R	8R	9R	10R	11R	12R

立候補決意表明

L山田 實紘 (やまだ じつひろ)

(334-B地区 2 R 2 Z 美濃加茂ライオンズクラブ所属)

この度、私は国際協会第二副会長に立候補する決意を致しました。

1917年にアメリカで誕生したライオンズクラブは、現在では45,000クラブ、130万人にまで拡大し、あと数年で創設100年の節目を迎えようとしています。

日本ライオンズも1952年に第一番目の東京ライオンズクラブが誕生してから60年目を迎えようとしています。この間、日本ライオンズは、奉仕活動において多くの成果を収めています。

しかし、このような功績とは裏腹に、世界第三位の会員数を占める日本からは過去1名の国際会長しか輩出しておりません。国際本部からも、日本はもっとリーダーシップを発揮するよう要求されています。

こうした状況の中、熟慮に熟慮を重ねた結果、自らを奮起させ334複合地区より第二副会長候補として立ち上がる決意を致しました。

国際協会は、さまざまな言語や宗教、文化からなる200国余りの会員で構成されています。各国の多様性を認めつつ統一するのは並大抵ではありません。しかし、ライオンズの精神を愛する私にはこの困難を乗り越えることが出来ると自負しております。今こそ、日本ライオンズが世界ライオンズをリードする時です。

忍耐強く努力を重ね、ライオニズムの高揚に努めてまいり所存です。国内から海外までクリーンな選挙活動を展開してまいります。

何卒皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経歴書

所 属 334-B地区 2 R 2 Z 美濃加茂ライオンズクラブ
住 所 〒505-0025 岐阜県美濃加茂市島町2-4-18
職 業 社会医療法人厚生会 木沢記念病院 理事長・病院長
学 歴 日本大学 医学部 1968年卒業-医学博士
ライオン歴 1996年~97年 334地区 地区ガバナー
1997年~98年 334地区 地区名誉顧問会議長
2002年~05年 日本ライオンズ連絡事務所管理委員
2005年~07年 国際理事
アワード 地区ガバナー優秀賞
国際会長賞 6回
メルビン・ジョーンズ・フェロー 118回
国際会長感謝状

所信表明 日本の中で世界に奉仕

— ライオンズの明るい未来を構想し、そして実現へ —

L 秦 従道 (はた つぐみち)

(332-C地区 1 R 3 Z 仙台コアライオンズクラブ所属)

【まず、ポリシーありき】

世界に奉仕するライオンズクラブにとって、地域社会に密着した奉仕と世界への奉仕活動はまさに車の両輪です。そのためには組織の強化が必須条件となり、その目的達成のために必要となってくるのは、未来を見据えた将来のライオンズクラブ像の構想ではないでしょうか。地域社会や世界中の一般市民に今以上に評価され、歓迎されるためには、一般社会の共感を得、一般市民と一緒に活動するような地道な活動が欠かせません。

それには万人が共感する明確な奉仕活動のポリシーが必要となり、私はそこに崇高なライオニズムの精神と共に、思いやりや調和を重んじる日本の心・東洋の思想をあてたいと考えるのです。

【現状が最高ではない、常に改善の姿勢が必要】

私は、現場で地道に活動している会員の皆様のみならず、ライオンズに期待し協力を求めている地域社会の皆様のご意見もまた集約し、さらに全日本レベルとの調和を取りながら、皆様が少しでも活動しやすい環境を整備していくために、国際協会に諸提案を行ってまいります。

【さらなるご支援・ご協力を】

今後は、広く皆様のご意見を伺いながらライオンズの未来を構想し、日本ライオンズ・世界ライオンズの尚一層の発展のため邁進する決意です。是非とも皆様の力強いご支援をお願い申し上げます。

経歴書

所 属	332-C地区 1 R 3 Z 仙台コアライオンズクラブ
生 年 月 日	昭和21年6月5日
住 所	仙台市青葉区立町18番7号
家 族	妻 静子 (仙台コアライオンズクラブ)
現 職	東日本チェスコム(株) 代表取締役・税理士 (株)日本システムプランニング 代表取締役 秦税理士・ITコンサルティングオフィスCEO
学 歴	福島大学大学院経済学研究科修士課程修了 東北大学大学院経済学研究科博士課程前期終了 日本ベンチャー学会 会員・経済学修士 (東北大・福島大)
ライオン歴	2002年～03年 332-C地区 地区ガバナー 2003年～04年 332-C地区 地区名誉顧問会議長 2008年～10年 MD332 MERL コーディネーター
アワード	2004年 国際会長EXTアワード (3クラブ) キー・オブ・ステート (75人スポンサーキー賞) 2005年 国際会長リーダーシップアワード 2008年 国際会長賞 (マヘンドラ・アマラスリヤ) 累進MJF52回

国際理事立候補への抱負

L高田 順一 (たかだ じゅんいち)

(334-D地区 1 R 2 Z 富山昭和ライオンズクラブ所属)

このたび私は、2011年～2013年国際理事として334複合地区のご推薦を賜りたく立候補いたしました。以下に立候補に向けての抱負を述べます。

私は、2008年7月、アル・ブランデル国際会長よりGMT（グローバル会員増強チーム）リーダーとして西日本を担当する役割を頂き、昨年7月ヴィルフス国際会長から再任されました。このGMTリーダーとして経験したことを、日本のライオンズクラブの活性化に活かしていく機会を得るため国際理事に立候補致しました。

本年度末の西日本の会員増強目標は、マイナス200名です。東日本のプラス500名と合わせて日本は300名の会員増強目標を設定しています。新クラブ結成は20が目標です。日本では新クラブの結成が少なく、クラブの解散が多くなっています。

この現状を打破するためには魅力あるライオンズクラブでなければなりません。GMTリーダーとしての3年の任期に引き続き2年間国際理事として、魅力あるライオンズクラブをテーマに取り組む所存です。

何卒皆様のご推薦をお願い申し上げます。

経歴書

所 属 334-D地区 1 R 2 Z 富山昭和ライオンズクラブ
生 年 月 日 1949年1月17日
住 所 富山県富山市億田寿町20番20号
職 業 阪神化成工業(株) 代表取締役社長
学 歴 慶應義塾大学 経済学部 1971年卒業
ライオン歴 2003年～04年 地区ガバナー
2004年～05年 334複合地区地区リサーチ・長期計画委員長
2006年～07年 334複合地区ガバナー協議会議長
2008年～10年 ライオンズクラブ国際協会グローバル会員増強チーム
アワード 2003年・2009年・2010年 国際会長賞

松戸グリーンLC CN15周年記念例会

感謝

松戸グリーンライオンズクラブ 会長
L高橋 順之

日時：平成22年11月20日

場所：聖徳大学10号館14階『ラウンジ・ローカス』

会長 L高橋 順之

松戸グリーンライオンズクラブは1995年11月11日、松戸ライオンズクラブのスポンサーにより誕生いたしました。この年は阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件があり、バブル崩壊後間もない日本に社会不安が蔓延した年でもありました。この15年間、



紆余曲折しながら、その都度、スポンサークラブ、ブラザークラブの皆様のご指導を頂き軌道修正しながら活動を続け、おかげさまでチャーターナイト15周年という節目の年を迎えることができました。

今回の記念例会に際しまして、これまでのチャリティゴルフ大会やさくらまつり、献灯まつりへの出店等により獲得しましたACT資金を、3つの記念事業に充てさせていただきました。



◆CN15周年記念事業

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 一. 社会福祉法人六高台福祉会様 | 地デジ対応テレビ2台寄贈 |
| 一. 財団法人松戸市国際交流協会様 | 『松戸かぼちゃ文庫』金一封 |
| 一. 松戸市黄色いハンカチ友の会様 | 『黄色いハンカチ運動』事業継承 |

これまで支えていただきました沢山の方々への感謝の気持ちを忘れず、今後は、これまで培った経験を活かし、更に精進して参る所存です。スポンサークラブ、ブラザークラブの皆様には従前以上のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



市川LC 結成50周年記念の集い

「ライオニズム 新たに誓う50年」

市川ライオンズクラブ 会長
L溝口 昭義



メンバー・家族・ゲスト（感動・感激・感謝の笑顔）

2月5日(土)帝国ホテル孔雀の間において、「結成50周年記念の集い」を開催いたしました。

当日は、衆議院議員村越祐民様、元参議院議長倉田寛之様、市川市長大久保博様、前市川市長千葉光行様、市川商工会議所会頭片岡直公様をご来賓に、ライオンズクラブ関係では国際理事L山浦晟暉、元国際理事L後藤隆一、地区ガバナーL竹下徳永、歴代の前地区、元地区ガバナー、名誉顧問の皆様、キャビネット役員の皆様をご来賓として、またスポンサークラブ東京ライオンズクラブから、330-A地区元地区ガバナーL池崎道男、会長L追原篤男はじめ役員の皆様、330複合地区の皆様、市川市内より市川ロータリークラブ、市川青年会議所の皆様、そして千葉県内各地津々浦々よりご参集いただきました333-C地区1リジョンから10リジョンのブラザークラブの皆様、総勢280名の皆様にご参加をいただきました。ありがとうございました。新しい形の式典が提案できたことと思います。

50周年ということで、厳かな式典という意見もありましたが、多方面からお客様をお招きすることを考慮し、皆様楽しんでいただける催しにという主旨で開催いたしました。結成式の様子を伝えるたった一枚の写真をはじめ、50年前の市川市内の写真などのスライドショー。参加者全員で誰もが知っている懐かしい曲の合唱、アトラクションでは、アメリカンポップスから歌謡曲まで、当時を思い出しながら楽しんでいただけたと思います。

今期スローガン「ライオニズム新たに誓う50年」のとおり新たな出発の日となりました。同じゾーン、リジョン、準地区、複合地区はもちろん、日本、アジアという枠組み、垣根を越えて世界のライオンズクラブ会員の皆様と共に、より良い奉仕活動を探求してゆくことを誓わせていただきます。

新たな50年間に向けて、今後とも皆様方のご指導ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。



千葉県立千葉盲学校（みつろう君作品展）



アトラクション SWINGMATES “K”

南房総LC 青年支部発足式

「若い会員のパワーに託す」

南房総ライオンズクラブ ZC

L 松本 宰史



過疎化が進む中で

南房総市の人口42,000人、過疎という言葉は良くないが、県下で市として高齢化率No.1である。

そんな9R1Zは、館山市、南房総市の2市エリア4クラブ、65名（8月末現在）の会員数これも333-C地区ではゾーンNo.1である。どう考えても、会員増強へのアプローチは、簡単なものではないことは言うまでもない。まして、支部発足など夢の夢である。

9R2Z鴨川ライオンズクラブ若獅子支部の誕生の実績

鴨川ライオンズクラブ若獅子支部誕生の立役者の一人で

あるL上條弘史地区青年会員増強委員長の一言、「会長の強いリーダーシップがあれば出来る」9R1Z-MERL委員会（10月12日）でL上條弘史委員長より、「私も応援するので、この1ゾーン内で支部発足に取り組んでください」しかし、良い返事は当然ながら出てこない。

ZCの南房総ライオンズクラブで取り組むことになり、その後例会（10月28日）で支部発足について協議、消極的な流れで話は進む、当然撃沈もありかと思いがよぎる。

そこで支部会長には、我がクラブ最年少のL足立拓生に会長を命じた。その返事が「ハイ」の一言、「3名は確実です」と言葉が発せられ、事態は一転した。会員一同そうであれば何とか出来るぞと確信につながった。

そして支部発足日は、L上條弘史委員長から11月6日のガバナー公式訪問に決めるとされた。時間はその日を入れてもたった10日間しかない。実質動けるのは1週間である。L上條弘史委員長からすると、時間日数ではない、むしろ短時間の方が全てうまくいく。これが鴨川ライオンズクラブ若獅子支部誕生で得た事だと言う。これらの実績から出来ると言う信念の基に、南房総ライオンズクラブ青年支部が発足することができたことは、L上條弘史委員長に心より感謝している。

また、この日「新入会員研修」を公認ガイディングライオンでもある地区指導力育成・長期計画副委員長L平松修實（四街道順天LC）を講師としてお迎えし、研修を行い若いライオンにお力添えを頂いたことに、感謝を申し上げたい。



支部発足から得たこと

歴史のあるクラブほど、会員平均年齢が高く、若い会員の入会が思うように進まないのが現状である。そこに見えない壁を作っていることを今一度考えてみる。若者にプロジェクトを任せることで、事態が変わるってことを体験した。

南房総ライオンズクラブは、来年結成5周年を迎える。まだ、若いクラブであるが、若者の意見を否定せず尊重すること、ライオンズクラブを教えるのではなく、共に考え行動することで、更に活力と発展が望めるのではないかなと思う。

ライオンズクラブ国際協会 333-C地区

第57回年次大会

— 知性・奉仕・友愛・変化 —
— 明るい未来へライオンズルネッサンス —



We Serve

記念講演

山崎直子

JAXA 宇宙飛行士

(写真: NASA・JAXA提供)

■年次大会

日時: 2011年4月24日(日)

代議員受付 10:00~10:20

代議員総会 10:30~11:20

一般受付 10:30~11:20

記念講演 11:30~12:30

委員長報告 13:30~14:30

大会式典 14:30~15:30

会場: 市原市市民会館

■前夜祭

日時: 2011年4月23日(土)

受付 17:30~18:20

前夜祭 18:30~21:30

会場: ホテルグリーンタワー千葉

■レオ地区大会 16:00~18:00

会場: 千葉県労働者福祉センター

大会ホストクラブ

5R

千葉 LC
千葉中央 LC
千葉幕張メッセ LC
千葉グリーン LC
千葉ネオ LC

千葉花見川 LC
千葉東 LC
千葉エコ LC
千葉京葉 LC
千葉若潮 LC

千葉ポート LC
千葉ゆうきの LC
市原 LC
市原南 LC
市原コスモス LC

市原東 LC
市原グリーン LC
市原ichyou LC
市原さくら LC
市原かずさ LC

第57回年次大会事務局

お申込み・お問い合わせ先

ライオンズクラブ国際協会

☎043-243-2528

333-C地区
事務局内

明るい未来へ ライオンズ ルネッサンス



— 知性・奉仕・友愛・変化 —

地区ガバナー L 竹下徳永

年次大会委員長挨拶

第57回年次大会が私達C地区の独立30周年の記念すべき年に市原市市民会館で開催出来ます事は誠に光栄の至りで御座います。

竹下ガバナーは

明るい未来へ ライオンズ ルネッサンス
知性・奉仕・友愛・変化

をスローガンに掲げ、これからのライオンズクラブはいかに至るべきかを念頭に全力投球致して居ります。

久々の地方での開催ですが、会場は都市部の一流ホテルの施設と異なり、ご来場諸兄に多少のご不便をお掛けすると思いますが、大会役員一同スムーズにしかも楽しく挙行出来ます様色々と思案を致して居ります。

ご期待を戴きご多数のご参加をお待ち申し上げます。

地区年次大会委員長 斉藤 義雄

2011年4月24日(日) 年次大会記念式典

国際会長 L Sid L .Scruggs III が掲げた「希望の光」の提言と、地区ガバナー L 竹下徳永が求めた「変化」の成果を確認する「年次大会記念式典」を全員一堂に会して開催します。

今年は分科会に変えて、素晴らしい活動を複数の委員長からの報告会を行い、その成果を全員で喜び、分かち合ひましょう。

記念式典会場 市原市市民会館



※館山自動車道ご利用の方は、出口 大多喜・勝浦方面

会場:市原市市民会館

〒290-0023 千葉県市原市惣社1丁目1番地1
TEL.0436-22-7111

記念講演



講師 山崎直子
JAXA 宇宙飛行士

2010年4月、スペースシャトルで宇宙に旅立ち、2週間国際宇宙ステーションで任務を遂行された松戸市出身の宇宙飛行士山崎さんの体験を中心に講演を依頼しております。さて何が飛び出すか、お楽しみ。Questionも用意してご聴講下さい。

記念行事

記念講演に引き続き4~6月にJAXA(宇宙航空研究開発機構)の全面的なご協力を得て、県内6ヶ所で小・中・高校生を対象に「宇宙」をテーマに講演会を主催する予定です。

青少年健全育成事業として、青少年に「夢」と「希望」を考える機会を与え、将来の「宇宙開発」への関心を高めるのが目的です。

333-C地区会員全員の総力を挙げて成功させましょう。

2011年4月23日(土)

前夜祭

クラブメンバー皆様方の活躍に感謝し、共に語り合えるひと時を盛り沢山のメニューでお迎えます。オープニングに市川より国際的に活躍中のソプラノ歌手 サイ・イエングアンさんの歌謡ショーを楽しんでいただきます。

宴後半には勝浦から新進民謡歌手 伊藤 萌さんの「白浜音頭」を。

エンディングは千葉から名手 松田茂枝さんの迫力ある津軽三味線で賑やかに盛り上げます。



サイ・イエングアン



伊藤 萌



松田茂枝

会場:ホテルグリーントワー千葉 3F宴会場

〒260-0025 千葉市中央区間屋町1-45

TEL.043-302-1122

レオ地区大会

レオ活動を語り合う大会を開催します。多くの参加を希望します。

会場:千葉県労働者福祉センター

〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-4

TEL.043-241-6211

第71回 「緑と花のジャンボ市」

「緑と花のジャンボ市」について

船橋中央ライオンズクラブ 船橋緑化協会顧問

鈴木 利一



都市緑化を推進するためライオンズクラブが設立した船橋緑化協会は郷土の緑を保存するために、良き理解者を求め、広く市民参加によるグリーン作戦にいどみ、実践活動を通しての緑化意識を培養し、積極的な緑化の推進を図り、喜びと幸せが充溢する明るく健康で安全な街を市民ぐるみで創造するという趣旨のもとに、更に市民の緑化意識の高揚を図ると共に花と緑溢れる明るく、心豊かで潤いのある都市環境を創造して昭和49年7月31日設立した。以来「緑と

花のジャンボ市」を実施しています。この「緑と花のジャンボ市」は春と秋の年2回、JR船橋駅近くの天沼公園を会場として、苗木や草花の販売、緑の相談コーナー、体験コーナー等を実施しております。37年余実施回数も71回を数え、広く市民の皆様が親しまれて数多くの参加を頂いております。又、啓発事業として市内公民館へ草花の植付、盆栽、皐月、菊花展への支援活動も行っています。今後も緑の保全と緑化の推進に努めていきます。これ等の合同アクティビティをしているクラブは船橋、船橋中央、船橋京葉、船橋東、船橋ポート、船橋グリーン、船橋さざんか、船橋シニアの各ライオンズと会員の皆さんです。



千葉県ライオンズクラブ・ カンボジア支援 プロジェクト (CLCP)

カンボジア支援プロジェクト 会長
林 護



千葉県ライオンズクラブ・カンボジア支援プロジェクト (CLCP) は、1995年4月千葉ポートLCのCN10周年記念事業として、333-C地区が、初めて、単一クラブの奉仕活動として、カンボジア王国に小学校が建設贈呈されましたのが前身であります。

翌年1996年(平成8年)2月に、千葉県下地区内の各クラブの周年事業、有志のクラブ、有志のライオンの皆様によるご支援ご協力と輪を広げ、“カンボジアに学校を”という合言葉のもとに、千葉県ライオンズクラブ・カンボジアに

支援プロジェクト (CLCP) が設立致しました。

カンボジアのプノンペン・オーバイコーンLCとの共同事業として、この間16校舎の小学校、中学校を建設、竣工式と共に、支援をして参りました。

一昨年、2009年には、プノンペンより国道5号線約60キロ地点にある、コンボンチナン州コンポントラーチ・チレス地区に、チュムテイブ小学校を建設、そして昨年、2010年2月には、バンテアイメアンチェイ州に、チョンハー小学校校舎を建設し支援して参りました。

資金面に於いては、LC国際財団(LCIF)、地区内の各クラブの周年事業、有志クラブ、有志ライオンの皆様により学校建設を進めて参りました。

しかし現在、中小企業を取り巻く環境が不安定な状況の中で、以上の皆様だけのご支援とご協力による資金援助も困難となって参りました。

そこでCLCP自ら発想の転換をして、2010年6月には、千葉ゆうきのLCをはじめ、関係各位の皆様のご支援とご協力により、チャリティ・ディナーショーを企画実施を致しました、ご協力に感謝を申し上げます。

今後の展開と展望ですが、今年2011年2月には、次の学校建設予定の現地を見を計画、17校舎目の竣工にむけ、計画予定をしている現況です。

皆様の更なるご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、ここに至る間、カンボジア王国、経済省副大臣ニエン・レイン閣下のご協力に対して深く敬意を申し上げます。

この事業がカンボジアと日本の人々の間に寛容の精神を培い発展させる事に役立つものと確信をしております。



LIONSを增强しよう —MERLの取り組み—

地区MERLコーディネーター

L平松 修寛



組織のパワーは一般にメンバーの数と質、およびその能力を発揮させる機構とリーダーの指導力に負う。

地区MERL委員会はMembership会員増強、Extension新クラブ結成、Retention会員維持、Leadership指導力の委員長と地区内で指導的立場にあるライオン（具体的に決められているが）によって構成され、専ら会員数の増加と会員の質的向上の方法に関して検討し提言することが本来の役割であるが、その成果まで負わされてきた感がある。ここ2年間はゾーンやクラブでもLeadership抜きのMERLの取り組みが行なわれるようになり、成果を挙げていることは喜ばしい限りである。

来年度からはMERLを分割し、GMT即ちGlobal Membership TeamとGLT即ちGlobal Leadership Teamとに分けられる予定である。言わば「量」と「質」の分離であるが、互いに影響しあう要素であるので、分割後も有機的なつながりを持たせた運営が行なわれるように期待したい。

今年度の数の目標は各クラブ「純増」という以外には明示されていないが、それに関わる地区役員が6委員会24名も任命されていることから見れば、ガバナーの並々ならぬ意気込みと期待度が知れようというものだ。新クラブ結成とクラブ支部の設置は順調に見受けられるが、既存クラブの会員増強はいかがであろうか？ 昨年末の集計によれば地区で79名増となっているが、大半は新クラブと支部によるものであり、年度末退会者が例年100名程度いることを考慮すれば、既存クラブだけで5月末にプラス100名を超えていなければ、「純増」クラブはごく僅かにとどまるだろう。新クラブとクラブ支部を別にして、「クラブでは純増」「Zでは純増2以上」「Rでは純増3以上」にこだわった取り組みをして頂ければ好結果を期待できると思う。ZCの各クラブに対するきめ細やかなご指導に期待したい。

ライオンズクラブ国際協会はその趣旨We Serveを堅持しながら、会員の資格については規制を緩和する方向で組織を拡大してきた。白人男性に限定していた創立時から、1926年には有色人種を取り込み、1984年には女性の入会を認め、1業種1名の制限をなくし、大学生のクラブや家族会員に特典を与えてまで数の拡大を図ってきた。それは、特に日本では、ステータスの証と誤解されてきたライオンズにWe Serveは優れて人格上の問題であり、家柄も財産も収入も社会的地位も大事ではないと反省を迫っていることでもある。

日本のライオンズクラブは東京LCを筆頭に、地域の名士を集める形で全国津々浦々まで網羅する成果を挙げてきたが、名士の力量低下に伴う会員減少に歯止めがかからないでいる。昔、百貨店は小売業の王であった。その後スーパー、ホームセンター、ディスカウンター、大型専門店、直販店、通販、100均など様々な業態が繁栄する中で今や最も多くの売り上げを誇るのはコンビニである。小売業界が多様化することで全体として繁栄しているように、ライオンズもデパートの名店街にこだわらず多様化しなければ衰退あるのみである。

伝統型のライオンズクラブは地域の名士を集めているだけに退会者が少ないという長所をもっているが、経済活動が停滞する中ではジリ貧を免れ得ない。会費や入会金を下げることで一時的に入会者を増やせても、性格が曖昧になり反って退会者を増やす恐れもある。伝統のあるクラブほど改革が難しいという側面があるので、いっそ新クラブに作り変えるか、支部を設置して徐々に育てていずれ入れ替えるとか、工夫が必要である。即効性のある手段は家族会員特典の活用であろう。本来家族会員に対する特典は「正会員である家族会員」のものであるが、賛助会員レベルであることを容認すれば格安の会費でも会員としてカウントできるメリットがある。

日本におけるサッカーが今日の隆盛を見ているのには2つの大きな理由がある。ひとつは地域密着主義であり、もう1つはサポーターに至るまでの底辺の構成である。ライオンズは元々地域密着であるがお高く留まりすぎて嫌われていないだろうか？ 親しまれ、憧れたり、尊敬されたりするようなライオンでいるだろうか反省したい。また、家族会員やクラブ支部がライオンズの裾野を広げる有効な手段になりうると思うし、サポーターシステムについても今後の検討課題としたい。

会員の増強も、質の向上も、勿論アクティビティも、舞台はクラブにしかありません。我々は情報や機会を提供することしかできません。どうか夫々のクラブで、会員の一人ひとりがご活躍されんことを願ってやみません。

4-AR ガバナー 公式訪問報告

4-AR リジョン・チェアパーソン
L志村 光永



今期は地区ガバナーの意向により、ゾーン単位での公式訪問合同例会となりました。
各ゾーンごとに報告いたします。

1ゾーン

日時 平成22年10月30日 午後6時より
場所 船橋グランドホテル

1ゾーンの公式訪問は竹下地区ガバナーとキャビネット幹事、及び副幹事のご出席を賜り開催されました。関東地方に上陸しそうな大型台風が接近し強い雨と風が吹く厳しい状況の中、市内4クラブとレオクラブのメンバー約80名が集まりました。

竹下ガバナーと各クラブ三役の意見交換のあと、合同例会に場所を移し、竹下ガバナーの今期の詳細な方針をお伺いしました。そのなかで、ガバナースローガンの一つである「ライオンズルネッサンス」におおくのメンバーが関心をよせていました。

その後、懇親会にうつり、楽しい時間をすごしました。

2ゾーン

日時 平成22年10月31日 午前11時30分より
場所 フローラ西船

2ゾーンの公式訪問は前日と同じく竹下地区ガバナーとキャビネット幹事、副幹事のご出席を賜りました。2ゾーンでは竹下ガバナーの意向にそって、公式訪問例会の経費削減に努め、いろいろと工夫をして、従来よりも少ない経費で開催することができました。

クラブ三役との意見交換では活発な質疑応答があり、ゾーン単位での開催の長所が現れていたように思えました。合同例会は約90名の出席でガバナーと親しくお話をする機会を得ることができました。

以上各ゾーンとも盛会のうちに公式訪問を無事終えることができました。

最後に責任者として活躍されたL足立信吉、L小田原隆泰各ゾーン・チェアパーソンはじめ参加メンバーの皆様にご挨拶の意を表したいと思います。有難うございました。



ガバナー公式訪問を顧みて

4-BR2Z ゾーン・チェアパーソン L海老原 健治

平成22年11月27日、習志野市の銀座アスター津田沼賓館に於いて4-BR2Zのガバナー公式訪問が開催されました。2Zのクラブ、習志野LC・八千代LC・習志野中央LC・八千代東LCの計4クラブが出席、キャビネットより地区ガバナーL竹下徳永、地区幹事L加島正男、地区会計L星野鴻一をお迎えし、総勢69名で合同例会が出来ました。



三役との打合せ会議では竹下ガバナーよりライオンズ全般の基本理念と現在までの経過、会員増強についての考え方等、事細かく説明をされ、クラブ三役一同参考になったと思います。各クラブからの報告がなされ、とりわけ八千代東LCの年度内目標を達成され、更なる取り組みが発表されました。合同例会に於かれましても地区ガバナーから絶賛頂きました。また例会の途中にアワードタイムを設けて、元地区ガバナーL吉田政勝、第1副地区ガバナーL金井一

夫、ZCL海老原健治の3名に地区ガバナーより、メルビン・ジョーンズ・フェローのピン贈呈式が行われ、有意義な例会が行われました。



歓迎パーティーでは習志野LCに昨年11月に入会されました唯一の女性会員であり、歌手のL新澤真美の美声に聞き惚れてしまいました。キャビネット役員の皆様と共に懇親会の輪を広め、時の過ぎるのを忘れ和気藹々のうちに終わることが出来ました。多数のご参加者に対してお礼を申し上げます。



5Rガバナー公式訪問合同例会

5R リジョン・チェアパーソン
L岩沼 忠伺

今年度は、ガバナー方針により公式訪問合同例会がリジョンからゾーン単位で行われました。

5R・最初の合同例会は12月5日(日)14時よりホテルポートプラザちばで開催され、1Zの7クラブの会員が一同に集まり盛大に行われ、懇親会は某クラブのヒゲ幹事(Y)がおおいに盛り上げました。



12月11日(土)12時よりホテルグリーンタワー千葉で、2Zの5クラブの会員が一同に集まり盛大に行われました。また2Zに関しまし

ては当初から予定していた日程と会場が変更になり御迷惑をお掛けいたしまして本当に申し訳ありませんでした。



12月12日(日)10時より、残暑の厳しい9月4日(土)3R2Zから始まったガバナー公式訪問例会も、やっと最後のガバナー公式訪問例会を市原市民会館で3Zの8クラブ(市原かずさLCを含む)の会員が一同に集まり、来賓として市原市長・佐久間隆義L(市原南LC会員)も参加され盛大に開催されました。また懇親会も食事はお弁当で経費削減を実行し、余興として親子三味線の演奏まで準備されていたことに感激しました。

1Z・ZC相原辰夫L、2Z・ZC関根政子L、3Z・ZC丸勇治L本当にお世話になりました。

ありがとうございました。

9Rガバナー公式訪問

9R1Z・2Z ゾーン・チェアパーソン
 L松本 宰史
 L四宮 英爾



1Z公式訪問

ZC L松本 宰史

11月6日(土)鴨川グランドホテルで行われました。地区ガバナーL竹下徳永、地区幹事L加島正男、地区副幹事L松井道雄の3名で来られ、館山ライオンズクラブ、館山中央ライオンズクラブ、館山南ライオンズクラブ、南房総ライオンズクラブの4クラブが出席し開催、クラブ3役との懇談会で、ガバナー方針が述べられました。

クラブ現況報告では、9R1Z333-C地区内ゾーン単位の中で、会員数が一番少なく、会員増強に苦しんでいますが、今まさに再起を掛けて各クラブの努力が今まで以上に、行われている様子や館山ライオンズクラブ筆頭に会員増強の目標や事業実績が発表されました。

ガバナーから、特に館山中央ライオンズクラブの会員減少から再起をかけている取り組みに感銘し、それぞれのクラブに励ましのお言葉や、館山南ライオンズクラブの国際交流カンボジア小学校の絵画の交流、身体障害者のひかりの学園に対しての支援も高く評価されました。南房総ライオンズクラブ会長L川名融郎からは、プロジェクターを使用して報告がなされ、青年支部結成の報告もされました。このようなプレゼンは公式訪問初の試みであり、若い会員(青年支部)に強い印象を与えたようです。若い会員からは、この報告を見て、「ハッとした。こんなことが出来るのであれば、私達もITを利用してもっとやりたい」との声が上がって来た。若いパワーを感じる一面もありました。

以上から、9リジョン内1Zと2Zにそれぞれ青年支部が立ち上がり、地区青年会員増強委員長L上條弘史の実績が着実に効果を上げていることを高く評価できるものとなりました。

2Z公式訪問

ZC L四宮 英爾

11月6日(土)、ガバナー公式訪問合同例会が行われました。キャビネットより竹下徳永ガバナー、加島正男地区幹事、松井道雄地区副幹

事の皆様が来鴨され、鴨川29名、房州朝夷5名、房州勝浦20名、夷隅12名の出席のもと盛大に開催されました。

*L竹下徳永ガバナーとクラブ3役との懇談会
 14:00~15:00

合同例会前の3役との懇談会ではガバナーより方針、理念等の基本説明があり各クラブ会長からは薬物乱用防止教室の開催、献血、青少年団体に対する支援活動、老人福祉施設に対する支援、地元行事とのタイアップ、家族会員プログラムへの取り組みなどなどクラブの活動が報告されました。

*合同例会 16:30~17:30

ガバナーより本年度は、ゾーン単位の公式訪問を現在行っていること、それによって地域に密着した特徴のある活動がじかに聞かれること、的確な意見交換ができること、またクラブ会長の報告に対してクラブごとにコメントがありました。

特にこの地区の特質すべき点は前年度末会員数199名に対して10月末202名と3名増員していること、これは各クラブが大変にご努力されていることと、そして333-C地区において9RがNo.1であることが強調されました。

ガバナーとの懇談を通じクラブ会員としての自覚と更なる自信が彷彿と湧き上がってくるのを感じた公式訪問であったと思います。



地区ガバナー公式訪問 合同例会報告

10R リジョン・チェアパーソン
L 渡邊 正雄



今年度はガバナー方針である各ゾーン毎の公式訪問となり、2010年11月28日(日)に第一ゾーンは九十九里海岸の松林に囲まれたホテル一宮館、第二ゾーンは2010年12月4日(土)に東金市内の蓬莱閣に竹下ガバナーをお迎えしての公式訪問合同例会となりました。

第一ゾーンは11:00AM~12:00まで各クラブ三役との意見交換を実施し有意義な時間となりました。

1:30PMより公式訪問合同例会となる

参加クラブ 茂原ライオンズクラブ
上総一宮ライオンズクラブ
茂原長生ライオンズクラブ
白子ライオンズクラブ
茂原中央ライオンズクラブ

第一Zゾーン・チェアパーソンL磯辺より歓迎の挨拶並びにゾーンの現況報告があり、続いて各クラブ会長よりクラブ現況報告がありました。

竹下ガバナーより挨拶をいただきました中で感じたことは、各クラブの奉仕内容をしっかりと把握しており歯切れよく解り易く素晴らしい挨拶でした。3:30PMより懇親会に入り各メンバーと懇親を深め和やかなうちに終了。



第二ゾーンは1:00PM~2:30ガバナー公式訪問クラブ三役会議を開催しガバナー挨拶をいただいた後、ガバナーと各クラブ三役の意見交換を行い非常に活発な意見が出て有意義な時間となりました。

続いて2:45PMより合同例会に移りました。

参加クラブ 東金ライオンズクラブ
大網白里ライオンズクラブ
九十九里ライオンズクラブ
山武ライオンズクラブ
千葉九十九里ひまわりライオンズクラブ

地区役員及びクラブ役員の紹介があり、第二Zゾーン・チェアパーソンL井深よりガバナー歓迎の挨拶、次に各クラブ会長によるクラブ現況報告、竹下ガバナーの挨拶は第一ゾーンと同様解り易い挨拶でありました。

4:15PMより懇親会となり和気あいあいのうちに懇親を深めて楽しい合同例会となり終了。

第一ゾーンはL長澤第2副地区ガバナー、そして第二ゾーンはL金井第1副地区ガバナーの出席をいただきました。第一Zゾーン・チェアパーソンL磯辺、第二Zゾーン・チェアパーソンL井深ご苦勞様でした。



単県独立30周年記念論文 入賞者発表

第1号の本誌で単県独立30周年を記念して、論文を募集致しましたところ、予想を上回る多数のご応募がありました。審査は、前地区ガバナー・地区名誉顧問会議長L高田浩に審査委員長を、元地区ガバナーに審査委員をお願い致しました。

結果は下記の通りです。最優秀賞・優秀賞・優良賞の4名の方々の作品は次ページ以降に掲載いたしました。また、入選作品8編は、地区ニュース第4号に同じく全文掲載いたします。

全論文を大勢の方々が目を通され、この機会にライオンズクラブの将来について考えて頂ければ、主催者としてこれに勝る喜びはございません。 (地区文化・青少年育成委員長 L高鍋 隆孝)

◎最優秀賞

「ライオンズクラブの明日を考える」松本 宰史 (南房総LC)

◎優秀賞

「ライオンズクラブの明日を考える」平山 佐吉 (成田LC)

◎優良賞

「ライオンズクラブの明日を考える」青木 孝 (松戸東LC)

◎優良賞

「333-C地区の根幹」正木 守 (君津LC)

◎人賞

「明るい未来の為にー楽しいクラブづくりをー」	皆川 春安 (流山LC)
「ライオンズの明日を考えるー私たちの目的は何かー」	吉田 隆雄 (柏LC)
「ライオンズの明日を考える」	内山 敦子 (船橋LC)
「ライオンズの明日を考える」	鈴木 利一 (船橋中央LC)
「ライオンズの明日を考える」	田中 稔 (船橋シニアLC)
「ライオンズクラブの明日を考える」	西村 和男 (市原LC)
「45年の在籍を顧みて」	斎藤 義雄 (市原南LC)
「ライオンズクラブの明日を考える」	中川 都弘 (上総一宮LC)

(以上R順)

❖❖❖ 応募作品を読んで ❖❖❖

この度「333-C地区独立30年」を記念しての企画に、12編の応募をいただきました。課題は「明日のライオンズを考える」として、1,200字程度としました。当初、応募がどのくらい集まるか不安でした。

しかし、地区内全域からライオン歴の長い方、短い方など各年齢層から寄せられたことは、いろいろな「主張」が幅広く展開されていると思われました。

審査は、前地区ガバナー・地区名誉顧問会議長L高田浩に審査委員長に就任していただきました。審査委員は、元地区ガバナー各位に依頼しました。審査は、作品に「通し番号」を附し、氏名は消去し、5点刻みの得点で採点し、封書でキャビネット事務局へ送付されました。

その後、関係者が集まり開封集計した結果、上記作品が入賞しました。

入賞作品の主張は、(1)ITの飛躍的な躍進に関すること (2)ライオンズクラブの創成・発展・成熟・衰退の過程 (3)制度疲労と画期的改革を (4)現「ライオンズ憲章」はライオニズムの根幹であることを強く主張しています。

一方、(1)若手会員を前面に (2)薬害防止活動は前進の契機 (3)入会者を温かく迎える (4)Z・Rは結集して大きなACTを (5)障害には勇気をもってクリアを (6)例会を楽しく (7)「ライオンと呼ばれる人」に (8)会員の質の向上を

以上の作品を「1か月に一編づつ」各クラブ例会で取り上げて頂き、大きな成果が上がることを念願しています。

ライオンズクラブの明日を考える

南房総ライオンズクラブ

L松本 宰史



333-C地区独立30周年を迎えるに当たって、組織の運営そのものが、今、まさに大きく変貌しつつある。それは何かと言うと、ここ数年の間に国際本部始め、IT化の飛躍的な躍進である。

しかしまだ、ITは必要としない。地に足を着いた事をしろ。ホームページ？見た事無い。誰も見ていないよ。見る必要ない。今まで、そんなものがなくても充分やって来ている。

などなど変化に対して、拒否していないだろうか。

ITに関わる世界を、過去5年前と比べてみる。そして更に現在から未来5年後を予測してみる。否定的な流れにドブプリと浸かっていると、その変化に気付かないかもしれない。しかし、とてつもない程の産業革命が起きていることを、まさに今歴史が証明しようとしている。最近少しずつその変化が表明化している事に目を向けてみよう。

今までは、テレビ、新聞など一方的で押しつけの情報しか得られなかった。巨大メディアから、個の時代に、情報発信は個人で発信基地となる時代になった。もう新聞テレビは、時代遅れの産物になりつつある。

ITネット社会では、尖閣問題で話題になったYouTube、子供達に夢と希望と日本人である誇りを、小惑星探査機「はやぶさ」が帰還した模様をライブ放送した動画で涙と感動を与えた。などなど何故だか新聞テレビでは取上げない重大なニュースなどが瞬時に溢れている。むしろネットで話題になったニュースなど後日、新聞テレビに報道されることが多くなってきた。特に、学生から若い世代は、新聞テレビを見ずに、いち早く情報をキャッチしている。

また、重要なことは、テレビのような動画も、個人で気軽に出来る時代になり、個人発信情報が全世界を駆け巡る。ハイチの大地震も個人発信（ツイッター）で全世界へ、その地震の規模や被害状況が刻々と伝えられたことも記憶に新しい。こうした技術が続々と誕生し、もはや、新聞テレビなど情報発信は遅れをとり、信頼は失われた。欲しいニュースや情報は、ネットで検索する時代が変わったのだ。

本題に入ろう、以上の背景を理解した上で、クラブ運営を図る時代が到来した。

クラブは、高齢化や硬直化した組織になり、若い人が少なく、入会者がいない。大きな問題だと唱える。そう、その通りで事実である。

ここで、重要な事は、若手に過干渉することが弊害で、寛大な心があれば、問題ではなくなることを、今一度考えてみる必要がある。

今年の地区ガバナー公式訪問で、南房総LCは初めての試みとし、クラブ現況報告をプロジェクターで報告した。この様子を見ていた他クラブの若い会員から、「今までの先輩のやって来た事を継承しなくてはいけないのか？ 私たちはやりたいことがあるけどその狭間で悩んでいたことが、このプロジェクター報告を見て、ハッとしました。こんなことが出来るのであれば、私達もITを利用し、また色々なことをもっとやりたい」との声を聞くことが出来た。

最近、新しい支部やクラブ程、ITを旨く利用している。たとえば、例会案内やその返事も携帯で一発送信、全会員に伝達。メーリングリストの利用などで、簡単にやってのけてしまう。また、例会を待たずに話し合いが済んでしまうなど、情報のやり取りが今まで以上に進んできている。そんな若者達の情報に加わる事ができない先輩達とのギャップが、壁を作っていないだろうか。若者がやろうとしていることに、出来ないのではなくて、一歩踏み出して見ることでやる気が起き活性化していく。

若手メンバーが増えることで、今まで無かったことを言い出すことがあるが、先輩としてダメ出しや、「俺は聞いていない」「それは問題だ」などとヤボなこと言わずに、むしろ先輩が支えるくらいの寛大な気持ちで見守り育てる事で、ライオンズの明日が見えてくるのではないだろうか。

幸いにして、333-C地区のITの取り組みは、サバンナの導入に貢献するなど、また、地区サイトは充実と共に各クラブからの信頼を得て、ITは今後更にライオンズクラブ飛躍の為の礎となり、将来に向けて全会員と共に、更に切磋琢磨し、魅力あるものを追求しなければならない。



ライオンズクラブの明日を考える

成田ライオンズクラブ

平山 佐吉



333-C地区が独立して30年、その間たくさんの方が在籍し、そして入会し、そして悲喜こもごも退会された方も大勢おられたことと思います。30年といえば先行きが見えないほど期待できた15年、そして先が見えなくて、暗中模索を繰り返す後半の15年であったと思います。

ライオンズクラブの創成期、発展期そして成熟期、歴史上の世界の大国が、未来永劫、発展維持出来た事のないように、我々ライオンズクラブも、やがて何かの契機で、反目が始まり、それは親しくなりすぎたがゆえの弊害であったのかも知れません。全国的に見て、クラブ名に地名のみを与えられた、親クラブ程、5年・10年・20年と、時の流れを乗り越えられず、衰退して行っているように、私は思えてならないのです。そうしようとも思わないのになぜそうになってしまうか、いろいろな起因はあるとおもいますが、昔先輩より「熱心さゆえの意味のない闘争が原因だよ」、教えられたことがあります。又「クラブをやめる会員が多くなるのは、周年行事の前後の頃が多いよ」とも言われ、私は聞き返しました、「なぜですかお祝いの大事なときに」すると先輩は、「限られた準備期間の中で、みんな良くしようとするあまり頭に血がのぼり、つまりやっちゃうんだよ、喧嘩を!」と教えてくれました。わたくしはせっかく入会したクラブを、目的あるいは価値観の相違ならともかく、運用方法や対応の選択の違いで、人が離れていくことに疑問を持ちました。そこで、悪い事態を招かぬマニュアルを、時間を掛けて私なりに作る事にしました。そして昨年リジョン・チェアパーソンという役にめぐり会えた折、6Rの各クラブに、もし頂いていただけるのであれば、受け取ってくださいとお配り致しました。

タイトルは「愉快的明日のライオンズクラブを考える」であります。それを一部ご紹介します。

- 1、まず初めに、先輩・年長者より挨拶と会話を率先して始めましょう。
- 2、会議や例会で人の発言を妨げない、批判しない、批評しない、まずは人の話を良く聞いてあげた上で、その後、自分の意見として笑顔をもって述べる。決してそれは間違っているとか、昔からそんな事はやったことがないなど、頭から否定しないほうが、お互い一生懸命の上での無益な言い争いが防げる。
- 3、世代が違って、経験が違って、まずは人の考え・意見は肯定してあげる。
- 4、交通事故に100%がないように、お互いに歩がありお互いに非が有ることを、思い出しましょう。
- 5、正義であっても通し過ぎると、いずれ悪意に変化してしまう。
- 6、ライオンズクラブは任意団体です。少し俯瞰的に少し離れて静観する事も、時には必要です。
- 7、決まった事は守る、それは単一クラブの法律だからです。法律は施行後、残念ながら、即陳腐化が始まります。そぐわなくなったら又いずれ改定すれば良い。
- 8、メンバーは出来る限り、世代ごとのバランスを取り、そして女性会員は場を和ませてくれますので（ちょっと失礼な言い方かも知れませんが）多く加わって頂く。
- 9、理由がなくとも、にこにこしよう。笑いはパワーの源です。
- 10、袖すり合うも多少の縁、入会と同時に数十人の会員と知り合え、そして寝食も共にする事もある。自分も磨かれ、ついでに人を磨くことになるかも知れない。そんな利害関係のない素敵な組織が他にありますか。
- 11、派閥は作らない。但しクラブ内サークルは、おおいに結構。
- 12、自分が立つより、人を立たせる勇気、仕事は自分で手柄は人に。
- 13、テーマの時間は成るべくお金をかけずに、奉仕団体の公共性を活かし、行政・消防・警察・議員・企業人・奉仕先等より講師を招く。
- 14、一年に一度くらいは、ライオンズの歴史、存在、目的など時間無制限で語る会・および会則を読み合わせる会等を催す。

以上の様に、大義ではありませんが、日常の小さな心がけが、大きなうねりを生み、やがて果てしなき大海原へと見事な風をはらんで出航する帆船の姿が見えてきます。

私はライオンズクラブの発展は、そんなに難しいことではないと思います。今ある奉仕活動を一度見直し、奉仕活動を利用してクラブの結束を固めることが重要な事だと思います。

ライオンズクラブの明日を考える

松戸東ライオンズクラブ

L青木 孝



ライオンズクラブはこのままでは明日は覚束ないと危惧している。奉仕こそ我々の生命であり使命である。それが現在組織のための奉仕であって奉仕のための組織ではない傾向が益々強くなってきているからである。改革は手直しではなく破壊そして再建でなくてはならない。我が地区は時代に適合した画期的改革を進めるべきであると思う。

日本のLCは経済の隆盛時期即ちバブルのとき続々生まれ会員が爆発的に増加した。バブルが萎み不景気が長期に亘るとき、会員の単なる増強を求めることには意味がない。むしろ弱小クラブの淘汰が必要である。会員の資格として地域に声望ある成人とあるが、実際にはある程度の財力、時間的余裕、気力体力そして教養がないと会員としての力が発揮できない。会員の量より質を叫びたい。

次に組織と奉仕であるが現組織は極端な頭でっかちである。経済状況の悪いときにはそれに適合した奉仕に徹しそのための組織に改編することが大切である。今は全てがバブルを引きずっている感がある。

現在の奉仕は社会福祉協議会の事業、各種NPOの事業その他公的事業の中に埋没しているのではないと思う。他が追随できないLC独自の事業を考え出す必要がある。従来からのYE活動、献血・献腎・献眼等推進事業、緊急援助のほか育英事業、地球温暖化防止事業など県民の注目する大事業数種に限定し仕分けする。事業が限定されれば地区役員は大幅に縮小され事務量が激減する。現在単位クラブは地区以上の組織のための事務を処理するために個々に事務所を開設しているという過言でない。そのための運営費が会費を高くし事業費を圧迫している。上からの要求が少なくなればクラブ事務所を撤廃し、リジョンに事務所おけば足るものと思う。

次に運営であるがLCは諸規定に縛られ形式的なことが多く格式ばっているがこの点を改め、一層実質的に知性を高め、友愛を深めることが出来るように現代人に適した日本的な運営が必要である。即ちクラブ例会は毎回の儀式を撤廃しもっと自由な進行にする。また周年記念事業の簡素化、地区大会の総会的運営に徹底することを考えるべきである。

日本LCも60年経過し制度疲労を起こしている。以上の改革は極端と思えて実現には困難が伴うであろう。国際協会には手をつけられないが、地区独自で改革を検討し実行に移せないかと思う。現状を打破するには現在必携にある諸規定に拘泥せず、現社会情勢に適合しLCの目的本質を弁えた規定を作る必要があるかもしれない。社会から注目された事業の推進があつてこそL字の誇りが芽生えるのである。我々会員は明日のLCに精進努力の成果を求めたい。



333-C地区の根幹

君津ライオンズクラブ

L正木 守



奇しくも、333-C地区単県独立30年目の年に、単県独立に尽力されたL杉浦が鬼籍に入られました。L杉浦がどのようにライオニズムを生き抜き、「ライオンと呼ばれる人」であったかを記す機会に恵まれましたことに、衷心より御礼申し上げます。

1979年～1980年当時、333-A地区が新潟県と群馬県で構成され、333-B地区が栃木県・茨城県・千葉県の3県で構成されていた時に、地区分割審議委員会を設立し、杉浦キャビネットの年に年次大会で可決承認され、翌年の1980年11月、国際理事会に於いて333-C地区分割が承認されました。

翌年の1980年～1981年には、準備委員会の委員長として、333-C地区の礎を築き、「333-C地区ライオンズ憲章」の素案を作成し制定したのもL杉浦でした。

この「333-C地区ライオンズ憲章」はL杉浦の魂の叫びであり、ライオニズムの根幹をなすものだと思います。この憲章とは、根本的原則に関する決まりです。従って、「333-C地区のライオンズマンは、この憲章の基にライオニズムの根本的原則を守り、実践する。」という固い決意であり、大きな指針でもあるのです。

そのような気持ちで、この憲章をじっくりと、読み返す為に敢えてここに記します。

- 1、単位クラブの尊厳と自主性を尊重しよう。
- 2、奉仕の根源は愛であることを確認し、心をこめて精進しよう。
- 3、友情によって相互理解と強固な団結をはかろう。
- 4、組織の簡潔合理化と経費の節約に努めよう。
- 5、グッドスタンディングとは積極的参加の意欲であることを理解し指導力の開発に励もう。

そして、杉浦キャビネット時に、今のような固定したキャビネット事務局を設置開局し、現在の形にしたのも彼の指導によるものでした。

また、私達のリジョン（現8R）にも多大なる足跡を残しました。1980年度の年次大会にて、君津郡市青少年健全育成基金を設立し、30年後の現在に至るまでリジョン内のYCE活動や、LEO活動の支援金として役立っております。

君津ライオンズクラブに於いては、チャーターメンバーとしてクラブEXTに貢献され、富津ライオンズクラブのスポンサーにより、1967年6月21日に結成式を行い、翌年1968年1月21日に認証状伝達式（CN）を行いました。1967年度に会計、1969年度に幹事、1970年度には会長職を歴任され君津ライオンズクラブをリードしてまいりました。

地区ガバナーに就任する前年度には、君津ライオネスクラブ・君津レオクラブを結成し、「ライオンズクラブは父親、ライオネスクラブは母親、レオクラブは子供たち」との理念に基づき、君津ライオンズクラブメンバーを指導育成されました。

メルビン・ジョーンズは、「他人に尽くすことから始めるのでなければ、人生の大は成し遂げられない」と言われております。L杉浦は「奉仕は、物や金ばかりではなく、心であり、思いやりであり、愛であることの実践」と言われました。今の君津ライオンズクラブがあるのは、今の333-C地区があるのは、L杉浦の尽力の賜物だと、思わずにはいられません。L杉浦の教訓は、真のライオニズムとは何たるか、真のクラブ運営とはいかにあるべきかをご指導なされました。私達は、ここに深甚なる感謝を捧げるものであります。

1R2Z

浦安LC 会長 L熊切 克巳

「ダメ。ゼッタイ。」普及活動進行中！

薬物乱用防止教室は今年で8年目。市内小学校の半数の9校にて実施してきました。今期はさらに力を入れようと、「元祖！浦安鉄筋家族」作者のマンガ家浜岡賢次氏の協力で作成された「薬物乱用防止クリアファイル」を新調。金子委員長の各校への案内も功を奏し、今期はすでに6校で開催、その6年生全クラスの生徒が参加しました。小学校の授業に組み込むために、ここまでの普及には苦労しましたが、ようやく評価を受け認知していただいた感があります。

また創立122年の浦安小学校にて、初めての教室を実施しました。当クラブ先輩メンバーの多くが卒業された学校でもあり開始前には歴代校長の写真を見ながら幼少時代の会話で盛り上がり、大変熱が入った教室となりました。改めて、青少年健全育成には地域社会が重要であるという認識を実感した次第です。

また第13回浦安市民まつり会場で薬物乱用防止キャンペーンを実施し、普及活動をより多くの市民に触れていただく機会を設けました。メンバーの薬物乱用防止教育ゴールド認定講師資格取得者も年々増えております。

このような活動を基礎として、さらに他要素も組み込みながら総合的な展開に進化させるべく、積極的に取り組みたいと思います。



1R2Z

浦安中央LC IT・PR情報委員長 L平尾 寛治

浦安中央ライオンズクラブ
第9回浦安市民ボッチャ大会

11月20日(土)、「第9回浦安市民ボッチャ大会」が浦安市当代島体育館で開催されました。当クラブは後援者として大会のお手伝いをさせて頂いております。

ボッチャ競技とは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。障害を持つ・持たないの区別なく楽しめ、ルールはわかり易く、作戦次第でそれまでの形勢がひっくり返る面白さとをあわせてもっているゲームです。

今回は、クラブの初代会長である松崎浦安市長も交えて、障害者の方々とライオンズメンバーとが1人ずつ2人で1チームとなってトーナメントを行い、終日楽しく過ごしました。

これからも浦安ボッチャ協会への支援活動を通じて障害者の皆様との交流をさらに広げてまいりたいと思っています。



1R2Z 行徳リバーサイドLC 会長 L藤原 忠夫

チャーターナイト10周年に向けて

当クラブも結成されて10年目、紆余曲折の思いを体験しながら10周年記念という節目を迎えんとしています。微弱な体制ながら、心を和して懸命に活動を積み重ねる我がクラブのメンバーの活躍の一端を紹介いたします。

全委員参加、全員発言、テールツイスター中心とした楽しい例会、円滑に運営するための理事会の定着など和気あいの昨今の状況です。

着実に継続実行しているアクティビティー
(奉仕活動)

- ・チャリティーボウリング大会……年2回
- ・チャリティーゴルフ大会……年1回
- ・市川市民まつりチャリティーバザー
……………年1回
- ・青少年育成の一環として、地元小学生サッカーチーム支援及び日本介助犬協会資金提供。
- ・愛の献血活動（日本赤十字千葉県支部）開催……………年2回
- ・親子写生大会（市川市立妙典小学校）
……………年1回
- ・ダメ・ゼッタイ薬物乱用防止教育講座
……………年1回（予定）



活動には全員で参加、例会に全員出席。このことがクラブ強化拡大につながる基本であるとの合言葉に進めております。

特に献血活動開催は、午前と午後に参加メンバーを割り振り、必ず友人知人ともに参加しております。結成以来連続継続開催して参りました献血活動に対し、日本赤十字社千葉県支部よりクラブに対し、感謝状もいただき、さらに頑張っていこうとの意気に燃えております。



また、親子写生大会につきましても父兄の方々、学校側からも非常に喜ばれており、私たちメンバーの働きがライオンズクラブの発展の一助になっていることを確信し、これからも「団結で、一生懸命奉仕する」を合言葉に記念すべきチャーターナイト10周年の佳節を迎えるため頑張っまいます。



2R1Z 松戸ユウカリLC 会長 L杉浦 正八

タイ王国チェンライに古着を寄贈

タイ王国チェンライLCからライオンネットSNSを通じてチェンライの山岳民族に防寒着支援の要請がきました。近年の異常気象で冬の気温が下がって凍死者が出ているそうです。日本では3回目の取組みとなります。

このアクティビティに賛同した日本のライオンズクラブ並びにメンバーは明石魚住LCに荷物を集め神戸港よりコンテナでタイへ発送しました。今年は総個数618個、総容積46.521m³となりました。



当クラブではメンバー、地域の方のご協力で大人・子ども用防寒衣類、毛布などをクロネコヤマトのダンボール140サイズで20箱の古着を10月22日に送りました。箱詰め作業だけでも大変な作業ですが、受取ったチェンライでは、仕分け・配布ととても労力が掛かることと思います。



自クラブだけでは難しいアクティビティもインターネットを使ったグローバルな情報収集で意義ある活動ができたと思います。



2R1Z

松戸みどりLC 会長 L中島 貞江

松戸みどりライオンズクラブ
チャリティーダンスパーティー

2010年11月20日(土)の午後、チャリティーダンスパーティーを開催いたしました。

初めてのダンスパーティーでしたが、力強い協力者を得て形を整えることができ、とても楽しいパーティーになりました。チャリティーにご参加くださいました皆さまの善意の結集をありがたく受け止め、心より感謝を申し上げます。

今回のチャリティーダンスパーティーはお上手な方と男性が多かったことが特徴といえるでしょう。本来、社交ダンス会場は女性で埋めつくされるのが常識のようですが、この日は逆転、不慣れな私たちは「お誘い」にてんてこ舞いをいたしました。「壁の花」を覚悟していた私たちですが、記録写真を撮ることさえ忘れていました。一番楽しんだのは主催者の私たちだったかもしれません。

私たちは主催する立場としてダンスを習い始めましたが、その力量は千差万別、横並びというわけにはまいりません。ただ、優雅にして美しいスポーツ=社交ダンス、この認識だけは全員的一致するところです。

ダンスの虜になった私たちは今も練習を重ねております。私たちの踊る姿が会場の皆さまを魅了する日もそう遠くなくさそうです。

なお、収益金は盲導犬や青少年育成事業に対してご寄付申し上げます。



2R2Z

流山LC 会長 L田中 武

市民まつりにて「献血・薬害ダメ、
ゼットイ・模擬店」を行う

草木も色づき初めた10月31日(日)第32回流山市民まつりが、市運動公園・体育館を中心に行われましたが、流山ライオンズクラブでは、資金獲得事業として豚汁・イカ焼き・等の屋台を出店し、女性メンバーを中心に盛大に行われ多大な利益を得ることが出来ました。

また、献血車を配備。メンバー全員が奮起し、400cc50名を目標にし、ほぼ、達成する事ができ、あわせて、市指導センター、流山警察署の協力により、麻薬撲滅の広報車を配置し、ダメ、ゼットイの横断幕を掲げ、粗品を配りながら広報活動ACTを行いました、今年初めてのトリプル事業でしたが、メンバー全員充実した一日を過ごす事が出来ました。



恒例の「クリスマス会」を行う

12月12日の日曜日、南流山センターに於いて、恒例の流山ライオンズクラブ主催、(心身障害児者)手をつなぐ親の会「クリスマス会」を行いました、子供たちや両親・関係者が多数参加・市長はじめ来賓の方々のお祝い、市音楽家協会・東部中学校の生徒・それぞれの歌声やダンス等盛大に行われました、午後からは、プロによるコンサートライブがあり、子供たちは、大変満足したようでした、私たちメンバーも、一緒にダンスをしたり・照明や音楽係り等で汗をかき、感激ひとしおの一日でした。

2R2Z

松戸東LC 会報委員 L青木 孝

クラブ活動報告

9月の献血奉仕には28,000mlの成果を挙げ、10月のライオンズデー奉仕には、わがクラブで「孝子の像」を建立し植樹をした子と清水公園の清掃と、矢切の渡しへ行く「野菊の小径」に建立した「野菊の墓レリーフ」および「緑化清流」の石碑を清掃し小径沿いの植樹をした約300本の臯月に施肥を行った。



12月14日冬期YCE生としてシンガポールからD.Koh君を受け入れ、元わがクラブの会員であった小暮利夫様宅にステイして、浅草、日光等の日本文化および日本家庭の味を堪能させて無事27日成田より帰国させた。



姉妹提携しているオーストラリアBOX HILL LCの50周年記念例会に招かれて10月14日小暮勝正会長はじめ4名が訪問して祝意を表し19日帰国した。

松戸市の夏の風物詩となっているわがクラブの6月のホテル観賞会のため、蛍飼育場では冬季蛍成虫に餌の川蜷を与え、水槽や流れの管理改善の大変な作業と餌の川蜷の煩雑な養殖を続けている。現在宇宙少年団が毎週1回飼育を手伝い勉強している。



2R2Z

関宿LC 会長 L池田 利秋

関宿ライオンズクラブ青少年弁論大会

関宿ライオンズクラブ（会長 池田利秋）は、野田市制施行60周年記念「第12回青少年弁論大会～夢・希望を語る～」を11月6日（土）いちいのホール（小ホール）で開催致しました。

大会は青少年健全育成を目的とした継続事業の一環として、野田市教育委員会の後援と各学校と協力して企画されました。弁士は、野田北部地域（旧関宿町地域）に所在する小中高生から12名選ばれ、日々生活している家庭、学校、地域の中で、見聞き体験したことや、自分の夢や理想などを題材に言葉で表し、自分の考えを主張しました。

大会の審査を各出場校の校長、元校長に担当していただき、審査委員長からは「1人で多くの聴衆に語りかける話法と、中身の濃い想いを詳しく話していることに、年々レベルの向上を感じる」との評価を頂きました。また、LC会員全員が一丸となり盛り上げることができました。これからもこの様な事業を展開し地域に貢献できればと思います。



3R1Z

柏レインボーLC 会長 L菊池 淳

第2回チャリティーディナーショー開催

創立2年目で実績の少ない当クラブでは、ACTの恒例としていきたい事業のチャリティーディナーショーを10月17日に開催することが出来ました。今回は準備の期間が短かったことの反省を踏まえ、今年度は年度始めから準備委員会を立ち上げ「ロス・インディオス&アリシア」をお迎えして実施いたしました。150名以上のお客様にお越しいただき、またゲストとのデュエットもあり盛会のうちに終わることが出来ました。



今回は、お客様に喜んでいただける企画として、ゲストとのデュエット写真を、その場でプリントして差し上げました。いい思い出になると感激していただきました。



今回、チャリティー基金の収益は、以下に贈呈いたしました。

「千葉ライオンズクラブ カンボジア支援プロジェクト」

「千葉いのちの電話」

当クラブでは楽しい例会と、「和顔愛語」の優しい笑顔と優しい言葉を大切にして活動しております。

この思いが人に対する思いやりと優しさにつながり、奉仕活動の始まりと位置づけています。

3R2Z

柏沼南LC 幹事 L渡来 世志雄

「二十八の瞳」の薬物乱用防止教室

毎年恒例となりました柏沼南ライオンズクラブ主催の薬物乱用防止教室ですが、今年第一回目は1月19日(水)に、柏市立手賀西小学校で3時間目の授業としての開催となりました。

本来は柏沼南ライオンズクラブ単独のアクティビティーとして開催されるのですが、今回は柏なの花LCと柏みどりLCの2クラブの御協力を得ての開催となりました。と言いますのは、柏なの花LCと柏みどりLCでは、今期初めてそれぞれのクラブのアクティビティーとして、地域の小学校での薬物乱用防止教室の開催が決定しているため、自らのクラブが薬物乱用防止教室を開催する前に、柏沼南LCの授業を見学したいと言うお話がありました。しかし見学をするなら、実際に協力という形で参加をしていただいた方が、より役立つのではとの考えから、両クラブからクラブを代表する演技派女優に参加のご協力を頂くこととなりました。

DVDの上映15分、植松会長の挨拶1分、CD-ROMを使つての啓発講演15分、寸劇3話を10分、まとめ4分とテンポ良く進行し、小学校の授業時間である45分丁度で終了しました。

寸劇は、シーン1「繁華街で」を、L永田(柏沼南LC)が芸能プロダクションのスカウト役(実はバイヤー)をアドリブ豊富に演じ、また、L小柳(柏みどりLC)が自分のことを可愛いと思っている女の子の役をそのまま地で熱演。

シーン2「友達の家で」では、L山下（柏なの花LC）が最近元気のない女の子役をリアルに演じ、L吉野（柏なの花LC）は、友達思いの女の子役を本当に始めての演技なのと疑う程の名演技。

最後に、L永岡（柏みどりLC）に今回の薬物乱用防止教室のまとめを確りと締めていただきました。

少子化が進み、柏市立手賀西小学校の6年生は全員で16名、当日は2名欠席のため児童14名での授業となりましたが、彼達二十八の瞳は、春まだ早い正月の空を映す手賀沼の水面の様に、キラキラと眩しいくらいに輝いていました。



3R2Z

柏なの花LC PR会報編集ライオンズ情報委員長
L小山 恵子

第13回チャリティゴルフ大会

2010年10月4日(月)藤ヶ谷カントリークラブに於いて第13回チャリティゴルフ大会を開催しました。

- 今年は①青少年健全育成資金
- ②高齢者福祉資金

③AED救命練習機寄贈資金

この3本柱を支援事業に掲げ、多くの皆様に参加していただきました。



今回の支援内容の一つとして掲げた「青少年健全育成」の活動として、夏期YCE生をシドニーへ1名派遣。

冬期YCE生として、ニュージーランド北部ハーロックより17歳の高校生EMERALD. NEHOさんを受入れしています。

年末年始の、日本の伝統文化にふれファミリーと一緒に参加。また、他クラブとの合同新年例会に和装姿で出席。

「明けましておめでとうございます」の挨拶にメンバーより大きな拍手。

あっという間の17日間でしたが、日本で学んだ貴重な体験は、彼女を更に大きく成長させてくれることでしょう。

温かく迎えてくれたホストファミリーに、感謝の気持ちを感じ涙で伝えて成田空港を後にしました。



4-AR2Z

船橋東LC 会長 L廣澤 信司

『CN40周年の年、上期を終えて…』

7月1日の今期がスタートする日に、市立船橋中学校において全校生徒を対象に船橋警察署の協力を得て薬物乱用防止講演会を開催し、7月31日、8月1日には船橋東LC旗少年野球大会の開催、JR津田沼駅前献血呼びかけの奉仕活動、10月初旬には船橋CCにおいてチャリティーゴルフ大会を217名にのぼる参加者で、青少年育成資金の浄財ご協力をいただきました。翌月の11月6日にはCN40周年記念式典をフローラ西船において姉妹提携クラブのカナダ：サウスエドモントンLCのメンバー、岡山県笠岡市より友好クラブの笠岡東LCのメンバーを始め、船橋市役所関係、ブラザークラブのメンバー、その他多数の方々のご参加でクラブ誕生のお祝いを荘厳に開催する事が出来ました。



サウスエドモントンLCメンバーとは、一緒に伊豆・鎌倉への小旅行、笠岡東LCのメンバーとは茨城でのゴルフコンペ開催などで旧交をあたためる事も叶いました。

また、上期最後の12月には市立高根台中学

校において今期2度目の薬物乱用防止講演会を開催致しました。

何かと駆け足でクラブアクトを開催して参りましたが、メンバー少ない中の一致団結による協力体制があったからこそ成し遂げる事が出来たと非常に感謝しております。

クラブアクティビティを更なる高みへと推進する為、次年度の活動を容易に行えるよう下期には会員増強に向け、一人でも同じ志を持ったメンバーを増員する事にメンバー各々の協力を求めて行きたいと考えております。

4-AR2Z

船橋さざんかLC 会長 L小川 淑子

バングラデシュ孤児院支援について

私達のクラブは16年目を迎え女性会員のみで、「やさしさが心にひびく奉仕の和」をスローガンに奉仕活動を行っています。

活動の一つにバングラデシュ孤児院支援を2年前より開始しました。この孤児院は、階級の底辺にも入れないアウトカーストと呼ばれ歴史的に社会から軽視されてきた存在の孤児・ホームレス・困窮状態の子供たちのために2000年に設立されました。

現在運営は全て海外からの支援者によって支えられていますが、食費などで借金が増えていくばかりです。支援する側も支援目的に沿った結果が出せるよう、孤児院との関係を築いていかなければいけません。

子供たちに今生活に必要なものを訊きました。

- 1位 教科書
- 2位 紙・ペン
- 3位 家庭教師
- 4位 屋根の修理
- 5位 天井ファンの修理

財政危機のため教科書を買う余裕はありません。子供たちはテストに向け勉強していますが、教科書なしでどうやって勉強していたのでしょうか。夏になると一日に4～5回合計4時間以上停電します。そんな状況が分かりクラブから充電式の電球と懐中電灯それに教科書等を支援することが出来ました。

最低限の生活もままならない中で子供たちの生活環境改善には全く手が回らないため、日本の直接的な支援の一つ一つに子供たちは本当にうれしそうです。

社会問題に取り組むのは外国のNGO等の役目だというバングラデシュ人の固定観念を変えるため、バングラデシュ国内での関心も高める必要があると思いつつ、我が船橋さんかLCは子供たちに還元できる支援をこれからも続けていけたらと思います。



4-AR2Z

船橋翼LC 会長 L太田 豊久

夢を語れる未来の為に

当クラブも今年度8年目を迎えました。

我々の宝である子供たちが「未来に目を輝かせながら夢を語れるような環境創り」がこれからの社会には必要不可欠だと考えます。当クラブでは、心の絆「成人式おめでとう」声かけ運動を市内のLCさんと一緒に行っております。最初は小さい声しか出ませんが時間が経つにつれ、大きな声で「おめでとう」と声をかけると「ありがとう」と返ってきます。とても、幸せな気分になります。これからも、声かけ運動を続けながら子供たちを見守って行きたいと思えます。また、物を大切に作る心・人を思いやる心を育む運動として「カンボジアの仲間に楽器を贈ろう！」と題して、使わなくなった鍵盤ハーモニカを船橋市内の小中学校・PTAの皆様にご協力いただき現地に送っております。集めることを通じて親と子が思いやりについて等、話す機会になれば幸いと活動を続けております。これからも、明るい未来の為に頑張りたいと思えます。



4-BR1Z

白井シニアLC 会長 L釜原 紘一

活かそうシニアの経験と知恵

22.6.30

白井シニアライオンズクラブ
第1回薬物乱用防止教室にチャレンジ
白井第三小学校

白井シニアライオンズクラブ（会長玉井秀幸）は、平成22年6月29日（火）13:30～14:30の間、白井市第三小学校において、6年生67名に対して、第1回薬物乱用防止教室を開催した。

当日は、玉井会長以下10名のメンバーが、同校の体育館において、児童・生徒がたとえ一度でも薬物乱用に手をそめないよう「ダメ。ゼッタイ」のスローガンの下、寸劇等を通して、薬物乱用を防ぐ知識を啓発した。

生徒たちは、蒸し暑いなかで、修学旅行直前の多忙な時であったが、薬物乱用についての正しい知識を知り、今は誘惑が無いかも知れないが、大きくなって、「薬物を使おうと誘われても」今日の寸劇等を思い出し、はっきりと誘いを断ることの必要性が理解できたと言々に話していた。

22.10.27

白井シニアライオンズクラブ
薬物乱用防止教育実施報告

「白井シニアライオンズクラブは、2010年10月22日（金）白井市立南山小学校において、6年生65名に対して、薬物乱用防止教室を実施した。」

22.10.27

白井シニアライオンズクラブ
薬物乱用 防止教室にチャレンジ!!
白井市立南山小学校

白井シニアライオンズクラブは、平成22年10月22日（金）11:15～12:15の間、白井市立南

山小学校において、6年生65名に対して、薬物乱用防止教室を開催した。

当日は、会長以下10名のメンバーが、同校の体育館において、児童・生徒が、たとえ一度でも薬物乱用に手をそめないよう「ダメ。ゼッタイ」のスローガンの下、寸劇等を通して、薬物乱用を防ぐ知識を啓発した。

生徒たちは、運動会前の多忙な時であったが、薬物乱用についての正しい知識を知り、今は、誘惑が無いかも知れないが、大きくなって「薬物を使おうと誘われても」今日の地元ライオンズクラブの叔父さん・叔母さんたちの寸劇等を思い出し、薬物の誘いを断ることの必要性が理解できたと話していた。

終了後は、生徒たちの給食を頂きながら、昔話に花が咲いた。

4-BR・1Z

白井シニアライオンズクラブ会長
釜原紘一
薬物乱用防止教室の開催について

白井シニアライオンズクラブは、平成22年6月29日（火）白井市立第三小学校（6年生計67名）及び同年10月22日（金）白井市立南山小学校（6年生計65名）に対して、薬物乱用防止教室を実施した。

会長以下、当クラブ教育グループのメンバーが、体育館において、子供達が、たとえ一度でも薬物乱用に手をそめないよう「ダメ。ゼッタイ」のスローガンの下、DVD上映、寸劇等を通して、薬物乱用に対する正しい知識を啓発した。

又、最後に「財団法人麻薬・覚せい剤防止センター」が作成した薬物乱用が及ぼす害について記載されている啓発資料（下敷き）を配布した。

子供達は、今回の教室を振り返り「寸劇なども素晴らしく、薬物がとても危険で、手を出してはいけない「ダメ。ゼッタイ」という

ことが分かった等の感想文が子供達全員から寄せられた。

今後、当クラブは、平成23年1月21日(金)白井市立大山口小学校(6年生計102名)同年1月25日(火)白井市立清水口小学校(6年生計90名)に対する薬物乱用防止教室を予定している。

更に、白井市内から薬物乱用者を一人も出さないよう全小学校(9校)に対して活動の輪を広げ、行政とも連携し、子供達の未来を地域全体で見守っていく体制を整備すべく全員が張り切って活動をしている。



4-BR2Z 八千代東LC 会長 L鈴木 敏夫

“クラシック蓄音機でSPレコードを聴く夕べ”開催

「電気を一切使わずにゼンマイで回転する1920年～30年代の蓄音機で聴くSPレコードの音は素晴らしいものです。」をうたい文句に“クラシック蓄音機でSPレコードを聴く夕べ”を、2010年9月24日(金)に開催した。

当日はゾーン内各クラブメンバーと地域の人々に集まって頂き、蓄音機とSPレコードの説明から始まり、懐かしい音楽の数々に癒

しい残暑から開放され、優雅なひと時を過ごした。

“魅力あるライオンズで会員拡大”のスローガン達成のため、会費ワンコイン(500円)で、クラブ事務局を会場とし、楽しいライオンズ活動を地域の人々に知っていただくワンステップになればと企画した。当日集まっていた方々から次回開催を期待する声も聞こえ、今後はより多くの方々に集まっていただけらと思っております。



当クラブの下期事業には、2月に八千代市少年少女ミニバスケット大会開催と毎月の献血奉仕がありますが、これからの事業に全力投球しつつ、楽しいライオンズで会員増強出来ればとメンバー一同努力しているところです。



5R1Z

千葉幕張メッセL.C 会長 L小林 義明

活動報告

当クラブの代表的なアクティビティーの1つに『千葉マリーンズ杯争奪選手権大会』という少年野球大会があります。千葉市ならびに習志野市から選抜された小学校6年生の8チームが初秋の9月に2日間かけて戦います。球場は野球少年あこがれのマリンスタージアムでとても広く、選抜となっていますので選手のそれぞれのユニホームが初秋の空に映え、プロと同じ土俵で戦える誇りを感じます。昨年は酷暑でしたが観覧されている選手のご祖父母の体調など考慮し、バックネット裏室内より観戦していただくことができ一安心しています。



もう1つは『盲導犬育成募金』の該当活動で毎年2回、日本盲導犬協会のスタッフ、ボーイスカウト・ガールスカウトおよびパピーウォーカーのボランティアのご協力をいただき千葉駅前で開催しています。有難いことに毎回クラブにご縁のあるユーザーの方にもご参加いただき、実際に活躍している盲導犬・盲導犬協会のPR犬とパピー犬、犬もさることながらなんとと言っても力強いのはボーイ・

ガールスカウトの子供たち、多いときには総勢40人以上で募金のお願いすることもあります。

このように活動を通じ人の和や募金して下さるあたたかい方々に日々感謝しています。

5R1Z

千葉ネオL.C 会長 L塚本 篤史

活動報告

1. 千葉の親子三代夏祭り 前夜祭参加

8月21日、千葉中央公園にて行われました「千葉の親子三代夏祭り」前夜祭へ、本年も参加をさせていただきました。ベッタウンとして希薄な市民意識を改革することがこの市民祭りの本来の意義であり、その意味合いを色濃く残す前夜祭は、当クラブ同様、市民団体の手作りでの実施が中心に行われております。多くの市民の方々に「ふるさと」としての千葉を楽しんで頂けたと考えております。

又、例年同様、屋台での販売に多くの売上を頂き、その一部を子供たちへの教育支援や(財)千葉県肢体不自由児協会への寄付に役立てさせて頂きました。



2. 沖縄移動例会及び恩納ライオンズクラブ訪問

11月6日～7日の日程にて沖縄での移動家族例会を行いました。会員及び家族、合計18名にて沖縄本島を訪れ、日頃のライオンズクラブ活動にご協力を頂いておりますご家族の皆さんにも様々なアトラクションで楽しんで頂きました。

以前より恩納村の方と交流のあるメンバーおり、6日に行いました例会に恩納ライオンズクラブの皆様にお声かけをさせて頂き、来場を頂きました。島袋会長をはじめ6名の方の出席により多大なる歓迎を頂き、会員・家族共々大変楽しい時間を過ごすとともに、地域によるクラブ運営の問題、沖縄の現状、など数多くの意見交換を行うことが出来ました。

今後の両クラブの活動の連携を約束して盛会のうちに例会を終了致しました。

姉妹クラブの締結を視野に共同事業の実施を模索してまいります。



3. シニアライダーセーフティーミーティング (SRSM)

近年増加傾向にあります中高年二輪愛好者を対象に安全運転講習会の実施を行いました。

二輪車のライダーには四輪車の運転者とは異なり、ライダー自身の技量が安全な運転に対して大きく影響を及ぼすことがあります。参加者各個人の技量を高め、より安全な、より楽しいオートバイライフを続けて頂くため、4回目となる今回のSRSMはレインボーモータースクールのご協力により、特別カリキュラムを組んで頂いての開催となりました。

11月23日、総勢20名。当クラブの会員3名をはじめ、クラブ外からの皆さんの参加を頂き、普段公道では出来ない危険回避運動の練

習や、大型自動二輪の性能を限界まで経験することが出来ました。

今回は外部教習施設にカリキュラムの設定を依頼しての実施でしたが、今後は以前計画をしておりました千葉県警及び県内施設との連携を深め、継続を予定しております。

SRIZ

千葉東LC 会長 L嶋田 建弘

千葉市近隣小学校バレーボール大会に協賛支援活動

千葉東ライオンズクラブの地域の青少年育成支援活動が注目され、千葉市バレーボール協会の役員より、千葉市近隣小学生バレーボール大会に協賛支援活動の要請がありました。



要請に応じて、3年前に男子の部、女子の部に優勝カップを贈呈しました。

立派な優勝カップを見て、準優勝の小学生から「私達も頑張ったのにカップはないの」との声を聞き、2年目は協会の役員の方と相談して、女子の部は出場チームが22チームと多いので、優勝、準優勝、3位2個のカップ、男子の部には優勝、準優勝のカップを贈呈しました。女子の部の3位のカップが樹脂製のブルーのおしゃれなカップでしたので「2位より3位を狙いたい」とのささやきが聞こえました。

今年は協会の役員の方と相談して女子の部が31チーム出場ですので金色の優勝カップと準優勝は箔をつけるために前年より大きめの銀製カップを用意しました。3位は好評のブルーのカップを2個用意し、敢闘賞にブルーのカップを追加しました。

男子の部は9チームが出場、優勝、準優勝、3位のカップを用意しました。

今年の大会は女子の部が12月12日より8会場

に分かれて予選が始まり、若松台小学校の体育館で開会式とカップ贈呈式に千葉東ライオンズクラブの会員が参列し、競技の応援も行いました。各土、日にかけて予選会を経て、決勝戦は12月23日に男子の部は松が丘中学校、女子の部は決勝戦が柏井高校、4位以下の順位決定戦が椿森中学区の各体育館で行われカップ授与と球技の応援に千葉東ライオンズクラブの会長、第1副会長、第2副会長が手分けしてそれぞれ参列しました。小学生とは思えない鋭いスパイクやサーブを決めたり、難しい球をレシーブしたり、競技は白熱した好勝負でした。

カップは子供達に大変好評で来年も支援を宜しくと協会の役員の方よりお礼を頂きました。

	男子の部	女子の部
優勝	丸山BCB	みつわ台クラブ
準優勝	高根VBC	つばきジュニア
第3位	スターキッズ	柏ジュニア 薬園台南
敢闘賞		スポーツアカデミー



5R2Z

千葉若潮LC 青少年育成委員長 L豊田 重俊

第34回 千葉市親子写生大会

文化の日は「私たちの町、千葉市の美しさ、描くことによって、郷土を愛する心を育て、あわせて親と子の楽しい一日とする」

年中行事として地域の保育所・幼稚園から小学校まで多くの子どもたちに根付いた千葉若潮ライオンズクラブ主催の千葉市親子写生大会が快晴の11月3日千葉公園で開催されました。

千葉市の花、オオガハスの生息地であり、市民の憩いの場として風光明媚な千葉公園に今年も大勢の親子が集まり、ともに描く体験を通して家族の絆が深められたと想います。

34年間、千葉市教育委員会、千葉市保育協議会、千葉市幼稚園協会等、多くの後援を戴き今年も大成功に終了しました。

また近年は親子・兄弟の千葉ポート・千葉ゆきのライオンズクラブの支援もいただき、青少年育成活動に共感しております。



5R3Z

市原南LC 会長 L鎌瀧 收勇

盛大に行われた
ジョイントコンサート2010年

当クラブでは数多い事業を実施しておりますが、その中で特に軌道に乗っておりますのが青少年健全育成事業の「青少年のためのジョイントコンサート」であります。

今回で6回目を迎えました。去る11月14日に南総公民館体育館にて開催。小学校13校、幼稚園1園で実施。(中学校は次年度に実施予定である)

当日は、多くの来賓やスポンサークラブ・ブラザークラブの方々のご臨席のもと、前半は合唱、後半は楽器演奏でした。非常に礼儀正しくきちんと挨拶の出来る子どもたちである。最後に参加者全員で合唱をして、1年間にわたって準備作業を重ねたジョイントコンサートは無事終了した。



また、青少年健全育成を目標とした事業のもう一つは、市原東ライオンズクラブとの共催で「少年サッカー大会」も実施しております。

更に11月17日には、「第2回チャリティゴルフコンペ」を市原さくらライオンズクラブ及び多くの皆様のご協力を戴いて開催することが出来ました。小雨降る寒い中にもかかわらず、プレイヤーの方々は懸命に戦い、良き景品を手にして懇親会も大いに盛り上がりました。



なお、来る2月27日(日)には、チャーターナイト45周年記念式典の実施が決まり多くのブラザークラブの方々を市民会館にてお待ちしております。



6R1Z

成田グリーンLC 幹事 L山下 大二郎

ライオンズクラブに入会して

2009年9月に私（37歳）は成田グリーンライオンズクラブに入会させて頂きました。ライオンズクラブという名前は以前から知っていましたが、どういう活動をしているのか全く知りませんでした。入会してまず感じたことは、メンバーみんなが何事にも真剣に取り組むことです。チャリティーゴルフ（毎年200名位参加して頂いています）、献血（1回の献血量は県下1）、収穫祭など前年度の参加者数を意識しながら、「どういう風にPRすればより多くの方に参加して頂けるか」を考えています。先輩ライオンと話をさせて頂くときも、「このままでは駄目だ。もっと我々が変化していかなければ」と、変化を敬遠する年代の方が一番変化しようとしています。

ライオンズクラブから頂いたもの、それは「奉仕の精神」。今まで私が身につけていなかった心です。1つの奉仕活動を終えるたびに自分という人間がひとまわりづつ大きくなるような気がします。これからもライオンズ活動を継続できるよう、仕事の方も手を抜かずに、頑張っていきたいと思います。ウィー・サーブ!!



6R1Z

成田平成LC 会長 L伊藤 武

ネパールミッション (チャリティーショーによる収益金寄贈)

成田平成ライオンズクラブ恒例のチャリティーディナーショーを平成21年11月23日成田ビューホテルにて行いました。当日は161名の参加を頂き、和気あいあいに食事をしながらショーを見て頂きました。



今回収益金は10月26日～11月1日にかけてメンバー5人によりネパール首都カトマンズよりバイクにて半日かかる「シュリーナバジョチ小・中学校」へトラック1台分の文房具を直接届けに行き参りました。2年前にも言って参りましたが、今回は以前とは違う学校ですが、行程等は前回とほぼ一緒でした。



直行便がないので成田から片道3日往復で1週間程の行程ですが、現地の子供達の人なっつこい笑顔、先生や父兄の歓迎を受けると“来て良かった”と確信致しました。現地の希望もあり次回は25周年事業ACTでしょうか…？現地は山間部にあり、夜漆黒な空に輝く天の川、また人工衛星が肉眼で見ることが出来感動して参りました。

以上

6R1Z

下総LC PR情報委員 L吉江 浄善

地域住民に好評・交通安全ミラー清掃奉仕

下総ライオンズクラブ（東郷成通会長）では、さる10月8日ライオンズデーに、午後2時～4時まで地域の交通安全ミラー清掃に汗を流した。（写真）本年で6年目、地域住民へも奉仕PRが浸透しはじめた。



利根川沿い国道356号線・県道成田～佐原線・滑川～横芝線の主要道路、それに集落間市道に点在するミラー300余基、軽トラック4台用意、各1台に清掃用具・ポリ桶に水を積み4人のメンバー（運転手を含）が「ライオンズ只今奉仕活動中」ののぼり旗を秋風になびかせ目的地へ、成田～佐原線沿い「滑川観音＝坂東観音霊場28番札所」前のミラー清掃中、近くにいたおばあさん「ライオンズの人かねえ、きれいにみがいて、おれの顔も良く映るねえ、来月は観音様で植木市があるので、お参り客も車で来る時代、きれいにしてくれて助かるねえ、ライオンズクラブも観音様のご利益いっぱいあるよお」とべたほめをいただいた。

台地畑地帯も畑の砂ほこりの汚れを落とし、農家からも喜ばれている。新学期を迎える4

月には、小中学校周辺のミラー清掃を予定している。

6R1Z

栄町LC 会長 L小川 武彦

栄町ライオンズクラブの活動状況

栄町ライオンズクラブは現在会員数15人のクラブであります。全員ライオンズ精神にのっとり協力しながら、そして地域に溶け込み地域の協力を得ながら、諸事業諸活動を継続的に取り組んでいます。

隔年の事業ですが、今年も6月末日に新進歌手の椎名佐千子、山口ひろみさんをゲストに迎え、多数のカラオケ愛好者及びに入場者を得て、「第2回チャリティー歌謡音楽祭」を実施しました。収益金は社会福祉事業および心身障害者支援法人等にACT致しました。

又、10月には、結成以来の継続事業である、印旛沼浄化推進運動「水辺のクリーン作戦」を町の協力を得て主催実施。多くの地域の人たち、団体の参加協力で長門川酒直機場を中心の約300キロのゴミを収集美化することが出来ました。そして同月、年2回実施する献血活動を実施いたしました。



11月1日(月)、ザ・グレンモアカントリークラブを会場に「第14回チャリティーゴルフ大会」を実施、約40組の参加ゴルファーは、難コースで最後までプレーを楽しまれました。多くの協賛者よりの賞品提供もあり、又参加プレイヤーの一人、L高城靖雄氏の歌謡ショーの奉仕もありパーティも大変盛り上がりました。収益金は社会福祉協議会および町福祉事業へ贈呈いたしました。

今後も地域の皆様の協力を得ながら、積極的に諸奉仕活動に取り組んでいきます。



6R1Z

四街道LC 会長 L花島 和伸

盲学校の子供たちと移動動物園

四街道ライオンズクラブは、11月9日(火) 県立千葉盲学校において「移動動物園」を行いました。



この日は例年になく暖かい日とで、朝10時から幼稚部と小学部の子供たちは青空のもと、ヒヨコ、アヒル、兔、亀、犬、山羊、ロバと触れあいました。

最初は手を出せないでいた子供たちも、手を添えたり、抱っこしてもらったりするうちに触れるようになります。一番の人気はヒヨ

コで、抱っこして離さない子供たちが大勢いました。

小学部の全員がロバに乗って芝生の上を往復しました。後の授業で、この「動物園」でさわってみた動物の絵を描くそうです。

1967年に結成された四街道ライオンズクラブと、1968年に四街道の地に移転してきた盲学校との交流は良く、四街道ライオンズクラブの重要な活動の一つとなっています。

1970年に芋掘り、落花生掘りから始まり、2004年から「移動動物園」の実施となりましたが、今後もこの楽しい活動を充実させてゆく所存です。



6R3Z

四街道中央LC 会長 L梶 静夫

活動報告

四街道中央ライオンズクラブでは毎年、青少年育成のための資金獲得事業としてヤーコン、そら豆の栽培をおこなっておりますのはこれまでもご紹介したとおりですが、農園は51号線吉岡十字路の南約300mほどにある一耕園の中にあります。農園長は当クラブ第6代会長のL井崎邦敏(後列、赤のハッピー姿)が当初から務めております。



その農園で恒例になっておりますのが正月休み明けの餅つき大会で農園長が音頭を取り会員と旭ヶ丘の皆さんが中心となって開催され子供達が楽しみにしている行事です。今年も大勢の子供達を集め1月10日の成人の日開催されました。

快晴でしたが寒風吹き荒ぶ中11時ごろから大人がつく臼に加え子供用の臼も用意され2時間ほどで8臼をつきあげ、つきあげた傍らからきな粉・餡・大根おろし・葱かつお等で味付けされ皆さんのおなかに消えて行きました。他にも焼き肉・フランクフルト・ウイナー・野菜炒めに熱々の豚汁もあってようやく体も温まり老若男女、思い思いに楽しんで頂きました。



6R3Z

四街道順天LC 会長 L田島 光

1180人収容の大ホールで
チャリティ歌まつり

2010年10月2日(土)四街道市文化センター大ホールにおいて、第2回チャリティ歌まつりを主催した。第1回は11時開演で90人の出演、観客約400人で収支はトントンであったが、今回は前夜に仕込みを終え、出演者は120人余、観客ほぼ同数で収益は10万円を超えた。収益金は貴重な奉仕活動資金となる。

この事業の目的の第一は、カラオケ愛好者に最高の舞台を提供することであり、元々高齢者が多いけれども更に施設利用者や障害者に機会を提供していきたいと考えている。第二には視聴者には無料で観賞し、楽しんでいただくことであるが、今後は各種施設への無料送迎を加えたいと考えている。

収益は上がるに越したことは無いが、あまり重視はしていない。重要なことは多くの人びとに楽しんで頂くことと、ライオンズを知り、親しんでいただくことである。そして勿論主催する我々自身が楽しいことである。

会場の予約は運も無いと取れないが、幸い第3回の方は確保できた。次回出演者はライオンズのメンバーや、ライオンズに近い人を増やし、裏方も含めてライオンズ親派やライオンズサポーターを増やしていければ事業の価値が高まると考えている。



7R1Z

銚子LC PR情報委員長 L田原 誠

銚子LCより市野球場へ大時計寄贈



銚子LC (42名) 「会長L島田政典」主催ライオンズ野球大会は第37回青少年健全育成事業として8月27、28、29日の3日間開催された。ライオンズ野球大会は昭49年県立銚子商業が甲子園優勝を記念して市内小学校対抗戦で真紅の大優勝旗と片倉杯(初代会長)を贈呈して始まり以後毎年8月の終りに行われて来た。今回は3日間天候に恵まれ銚子市内小学校12チームが大接戦の試合を行い決勝戦では、逆転に次ぐ逆転で見事優勝したのは市立高神小で2回目の優勝(会長出身校)である。尚、この大会は平成2年より銚子テレビで全試合放映されている。36年お世話になった銚子市野球場が今年9月に始まるゆめ半島千葉国体の高校野球大会会場に成る為2年前から大改築工事を行い、銚子LCでは新しいバックスタンドへ大時計を寄贈しました。9月26日より沖縄興南・東海大相模・成田高も参加して12チームで甲子園の熱戦が再現される。

ライオンズ野球大会は昭49年県立銚子商業が甲子園優勝を記念して市内小学校対抗戦で真紅の大優勝旗と片倉杯(初代会長)を贈呈して始まり以後毎年8月の終りに行われて来た。今回は3日間天候に恵まれ銚子市内小学校12チームが大接戦の試合を行い決勝戦では、逆転に次ぐ逆転で見事優勝したのは市立高神小で2回目の優勝(会長出身校)である。尚、この大会は平成2年より銚子テレビで全試合放映されている。36年お世話になった銚子市野球場が今年9月に始まるゆめ半島千葉国体の高校野球大会会場に成る為2年前から大改築工事を行い、銚子LCでは新しいバックスタンドへ大時計を寄贈しました。9月26日より沖縄興南・東海大相模・成田高も参加して12チームで甲子園の熱戦が再現される。

7R1Z

東庄LC 第二副会長 L大須賀 光幸

クリスマス特別例会について

毎年恒例となっている、北総育成園の皆さんを招待してのクリスマス例会が、12月16日に例会場の鯉屋旅館にて開かれた。

メンバー扮するサンタクロースのプレゼントに続き、乾杯とともにクラッカーの一斉発射で開宴となった。

園生お得意のカラオケ大会では、メンバーとのデュエットもあり、中でも園長先生と園生による「六甲おろし」の大合唱は圧巻であった。

また、園職員の皆さんによる余興も、毎年のことながら会を盛り上げて頂く事となり感謝申し上げたい。

盛大なカラオケ大会も終わりに近づき、例

年と同様に「北国の春」を全員にて大合唱となった。

最後に園生の心のこもったシクラメンの鉢植えを全員に頂き、時節柄うれしい贈物であった。

来年もまた元気で会えることを楽しみに、全員でお見送りした。



7R2Z

八日市場LC 会長 L高橋 瑛

国際平和ポスターコンテスト

ライオンズクラブ国際協会が希求する「平和と国際相互理解」を図る目的で、1988年に国際平和ポスターコンテストが始まり、本年度で23回目を迎えた。



今年のテーマは「平和へのビジョン」で、例年世界各国から二十数万点の作品が応募され、次代を担う子どもたちが平和について考え、それを表現している。

八日市場ライオンズクラブは、第2回大会より地区内の小学校の協力を得て、22回連続参加している。青少年健全育成を重点目標としている当ライオンズクラブにとっては欠くことのできない事業となっている。

今回は、匝瑳市内の小学校から76点の作品が寄せられ、その中から5点を選出し地区ガバナリー宛てに提出した。

7R2Z

総武中央LC 会長 L町山 廣

第27回 近隣小学校対抗駅伝大会

第27回近隣小学校対抗駅伝大会が、2010年11月27日(土)、薄曇、気温15℃の駅伝日和りに恵まれ、主催総武中央ライオンズクラブ、会長L町山 廣、共催横芝光町・山武市・芝山町各教育委員会。後援は光ライオンズクラブ・山武ライオンズクラブ、参加校17校、参加チームは6年生22チーム・5年生20チーム・参加人数518名の過去最大規模であった。

会場は坂田池公園1周1250メートルの球回コースで行われました。回数を重ねる毎に参加校・人数も増え続けたので我がクラブの少年少女委員会・共催各市・町教育委員会・後援の各ライオンズクラブとの会議を幾度となく開催し、万全を期して計画に当たりました。



このACTは、我がクラブがモットーと致します三本の柱 ☆環境美化 ☆老人福祉 ☆青少年健全育成 の一環として始まり継続してきました。

今大会では、3つの大会記録が更新されました。大きな大会ほど良い記録が生まれることに気づき、次回もより一層の拡大・充実に力を注ぎ、青少年育成に寄与したいと思います。

総武中央ライオンズサポートレディスクラブの皆さん温かい麦茶有難うございました。成績は、次の通りです。

5年生

- 優勝 松尾小学校 Aチーム
- 準優勝 成東小学校 Aチーム
- 三位 横芝小学校 Aチーム

6年生

- 優勝 横芝小学校 Aチーム
- 準優勝 大平小学校
- 三位 山武西小学校 Aチーム



7R2Z

大栄LC 幹事 L佐藤 勲

幼稚園・保育園児を招待し
「お楽しみ会」を開催

夏場の照りの反動か、今年の秋はぐずついた天候が続いています。そんな中であって、今日だけは本来の秋空がもどってきました。多少の肌寒さは感じるものの、「風の子」たちはまったく意に介しない様子です。

大栄幼稚園、大栄保育園の園児を招待しての「お楽しみ会」を10月27日、日本自動車大学校（NATS）を会場に開催しました。

NATSの学生さんにお手伝いいただき、校内の見学・カスタムカーの試乗、金魚すくいを楽しんでもらいました。また、当クラブのメンバーが所属するハーレーダビットソンクラブの方々にも参加していただきました。サイドカーの低い位置からの景観は大人でも新鮮であったようです。

金魚すくいでは丈夫な「ポイ」を用意したので、どんどんすくえるようで、あちこちで歓声が聞こえました。

「あ・り・が・と・う・ご・ざ・い・ま・し・た。た・の・し・か・っ・た・で・す」声をそろえてのお礼に何にも代え難い喜びを感じました。



7R2Z

栗源LC 会長 L齋藤 弘毅

栗源の祭りと
ライオンズクラブの活動について

推定67,000人と云われる栗源区三大祭りの一つ「ふるさとイモ祭り」が今年も11月21日盛大に開催された。



朝から好天に恵まれ人の波が押し寄せ、焼き芋広場も長蛇の列、お芋を焼く籾殻の山は90を超えるだろうか。57のおイモが焼かれた。焼きあがる頃の香りは何とも言えない。これでは列に並ばない訳にはいなくなる。また、道を挟んですぐ隣には「芋ほり体験広場」ということで、子供連れなどが多く親たちは子供の掘り取りの様子にさかんにシャッターを切っている。18アールの畑は11時ごろまでにはすっかり完売となる。

メイン会場を見ると、いも神社を中心にやや放射状に出店約100店舗、すぐ隣の小学校の校庭も合わせると200店舗はゆうに超えるだろう。

グラウンド正面には舞台、その後ろには大量の野菜を積んだ大きな宝船が鎮座している。舞台では、踊りや歌で賑わっている。広い野球場は人々人でいっぱい。大きなセイロでの蒸しイモ（2t）、5,000食を超える豚汁も無料。すごい行列だ。



午後3時頃には宝船の野菜も大安売りで賑わい、最後に商工会による紅白の餅投げ(4俵)が数分で投げ終わり、閉会の言葉が流れる。

私たちライオンズクラブは、今は13名と少数ではあるが、風船の無料配布・子供たちの楽しみダーツなど商品も盛りだくさん用意して子供たちに楽しんでもらった。

7R2Z

光LC 環境保全委員長 L加瀬 正義

海亀の産卵、約60%孵る

今年度の夏が非常に暑かったため、海亀の産卵が4頭であった。海亀の保護活動は

- ①毎日毎朝、海岸の見回りと釣り師からの情報を得て産卵箇所の確認
- ②産卵箇所を杭で囲う
- ③約60日前後に産卵箇所の車輪跡の整地
- ④地上に出られない亀の保護
- ⑤卵の殻を数え誕生亀の確認 等、

多くの作業が必要です。環境保護の指導員に協力しながら活動をしています。

砂をかき分け地上に出てくる子亀を見ることは極まれです。出遅れた亀、這い出られなかった亀の保護活動が主になります。約400の産卵で60%が海に帰っていきました。

- ①産卵に立ち会えたこと
 - ②穴から10匹程助け出したこと
- 等活動した喜びです。

今年は25周年記念で10万円を環境保護活動に、パンフの作成資金として贈呈した。

今後も光ライオンズクラブの活動として継続したい。



7R3Z

干潟LC PR情報委員 L米本 新治

お年寄りに生きがいを

干潟LCは、老人福祉事業の一環として20年間続けてきたゲートボール大会が愛好者の高齢化によるメンバーの減少のため、グラウンドゴルフ大会に切り替わり、本年第9回干潟LCグラウンドゴルフ大会が、平成22年11月15日(月)県立東総運動広場において100名の参加者とLC会員も多数参加して盛大に開催された。

当日は天候にも恵まれ、午前9時開会式、9時30分試合開始し、ホールインワンが出るたびに歓声が挙がり、参加者の終始華やかな笑顔の交流が続き入賞者は地場産の美味しい卵や豚肉・お餅など会員からの提供品を両手いっぱいにして大喜びであった。

また、めったに出ないダイヤモンド賞も出るなど、会場はいやがうえにも盛り上がった。

多くの参加者から、ぜひ来年も来たいとの力強い応援の声も寄せられメンバーも感激する中、盛会裡に終了した。



7R3Z

海上LC 幹事 L石毛 次郎

第2回 なかよし杯剣道大会開催
— 青少年健全育成を目指して —

平成22年5月15日(土) 海上キャンプ場体育館において、剣道大会が盛大に開催されました。「礼に始まり、礼で終わる」日本古来よりの剣道は青少年育成には最良のスポーツです。

気合鋭く、竹刀を打ち合う姿は勝敗を忘れて見入ってしまいます。我がクラブは、青少年健全育成の一環としてこれからも少年剣士の大会を支援していきたいと思えます。



7R3Z

銚子ウエストポートLC 会長 L日高 幸子

チャリティボーリング大会開催

デフレ不況を吹っ飛ばせ!!とばかりに今年も開催いたしました。銚子ウエストポートライオンズクラブ主催の第6回チャリティボーリング大会。会場は、銚子エースレーン。

50レーンの会場は当日286名の出場者で超満員。2ゲームの合計点で順位を争いました。ちなみに、優勝スコアはなんと358点。(1ゲーム平均179点)

優勝者インタビューに「私も小さい頃から何か持っていると言われてきましたが、大切な同じレーンの仲間を持ってました!」と?どこかで聞いた受け答えでした。

表彰式と懇親会は、銚子プラザホテルに会場を移して行いました。会長のL日高の挨拶に続き、銚子市社会福祉協議会、救護盲老人施設猿田荘の両団体にチャリティ募金を致しました。

行事を通じ、実行委員長のL宮内正寿の下、当クラブ会員で運営しましたが、乾杯の音頭を鈴木逸三ゾーン・チェアパーソンにといただき、また多数の友好クラブの皆様のお席ご協力により、盛大かつ和やかに大会を挙行できたことを改めて感謝いたします。



BR1Z

木更津LC 広報委員 L森田 恵

立派な意見が次々と
— 少年少女の主張大会を後援 —

木更津LCでは、毎年秋に行われる木更津市生涯学習フェスティバルのイベントの一環として開催される「少年少女の主張大会」を後援するスポンサーとして関わって参りました。「主張大会」は、木更津市の青少年相談員連絡協議会と教育委員会が共催で開かれ、平成22年11月23日の大会で第36回目を迎えました。

「主張大会」は、木更津市内18校の小学校から1名ずつ選抜された代表者による意見発表と、同市内の中学生から募った「青少年健全育成啓発標語コンクール」の入選作品発表とで構成されています。私たちのクラブメンバーは、発表会場である市民会館に来賓として招待されます。本年度の主張も、どの児童もおとな顔負けの立派な内容が次々に発表され、また生徒の標語も、おとな達がハッと気づかされるものでした。

地域の青少年健全育成に貢献できるイベントとして今後も取り組んで参ります。



BR1Z

袖ヶ浦LC 会長 L平良 登

袖ヶ浦ライオンズクラブ旗争奪
少年サッカー大会

当クラブでは、青少年健全育成事業として、2010年11月3日(祝)袖ヶ浦ライオンズクラブ旗争奪少年サッカー大会を好天に恵まれ、袖ヶ浦市総合陸上競技場において開催をいたしました。今年で第16回を迎えることができました。小学1年生の部、2年生の部、3年生の部、4年生の部、5・6年生の部、に分かれ各市内の32チームが参加をしてそれぞれ熱戦を展開してくれました。また、恒例となった“焼きそば、豚汁”は、選手のお母さん方が、当番制で積極的にお手伝いをしていただき大変和やかな雰囲気となりました。

当日は、袖ヶ浦市サッカー協会の役員の方々に、試合の運営、審判など、大変お世話になりました。これからさらに回数を増やして、当クラブのメインイベントにしたいと思えます。そして、いつかJリーグ・Wカップに出場し活躍できる選手が誕生することを期待したいと思います。



BR1Z

木更津金鈴LC 会長 L若林 一

第13回 木更津金鈴ライオンズ旗争奪少年サッカー大会開催

2002年ワールドカップが日韓共同開催されましたが、その前年日本中がサッカーブームに沸く中で青少年健全育成事業の一環として木更津少年サッカー連盟の協力を頂き、少年サッカー大会をスタートしました。早いもので今年第13回木更津金鈴ライオンズ旗争奪少年サッカー大会を10月11日体育の日に開催しました。木更津市内の10クラブ参加の下、早朝より準備をし午前8時30分L若林一会長のキックオフにより、予選リーグが開始され熱戦が繰り広げられました。それぞれの予選リーグを勝ち上がった4チームにより決勝トーナメントが行われ、FCフェルサGION対FCウーノ木更津Aの決勝戦となり見事FCウーノ木更津Aが優勝の栄に輝きました。表彰式で優勝、準優勝、3位のチームの選手全員一人一人にメダルを掛けてあげる時、何とも言いようのない素晴らしい笑顔全員が浮かべていた光景は脳裏を離れません。今大会を開催するにあたり、ご協力頂きました関係者の皆様本当に有り難うございました。



BR2Z

上総LC PR情報会報編集委員 委員長 L斎藤 敏夫

上総少年野球を30年以上継続開催

上総ライオンズクラブ主催、千葉日报社、小櫃野球連盟後援の上総少年野球秋季大会は、2010年11月6日と7日の2日間、君津市久留里スポーツ広場と小櫃スポーツ広場で行われた。今回で31年目、毎年春秋の2回開催し、61回目となった。出場チームは、亀山ジャガーズ、松丘少年野球クラブ、久留里少年野球クラブ、小櫃少年野球クラブ、馬来田少年野球クラブ、富岡ファイターズの6チーム。

開催式では、大河原達郎会長と来賓が挨拶、井崎涼太君（松丘）が選手宣誓。決勝戦は、小櫃チームと富岡チームで行われ、1点を争う接戦となり、富岡が追いついたが及ばず、5-4で小櫃が逃げ切ったの優勝となった。各試合とも10点以上の得点はなく、シーソーゲームがほとんどで、手に汗を握らせる試合ばかりであった。閉会式では、小櫃チームに賞状、優勝旗、トロフィーが贈られ、選手全員に金メダルが渡された。個人賞では最優秀賞に安田波輝君（小櫃）が選ばれた。

上総LCでは、ACTとして青少年健全育成を目指し、この少年野球開催と君津市内の上総LC、君津LC、君津中央LCの3クラブ共催による運動能力章表彰を行っている。少年野球大会は、放送、グラウンド整備、スコア付け等の運営を行い、汗を流している。中でもグラウンド整備では、各試合開始前に「トンボ」などを使って、試合で荒れた表面をきれいにしている。チーム紹介や試合進行のアナウンスには、出場チーム関係者が手伝い、審判は小櫃野球連盟にお願いしている。



「61回大会で優勝の小櫃チーム」

試合日程の約1ヶ月前には、監督会議（審判代表者を含む）を開催し、ルールの審議、組み合わせの抽選等を行い、交流懇親会で更に各種の協議を行っており、試合当日ではほとんど問題が起こらず、スムーズな運営となっている。監督や選手たちにとって、最も喜ばれているのが、上位3チーム選手全員に贈られるメダル。優勝チーム選手に金メダル、準優勝チーム選手には銀メダル、3位チーム選手に銅メダルが贈られており、各チームとも優勝旗と共にこのメダル獲得に練習に励んでいる。

BR2Z

君津中央LC 会長 L高橋 茂雄

地域と共に鹿野山参道の桜並木の復元に
取り組む君津中央LC

君津中央LCではクラブ発足以来、緑の環境整備事業に取り組んでまいりました。そんな折に、君津市は、平成14年から自然と個性の豊かな活力に満ちた都市の実現をめざし、地域の美しい景観の創出と健全な森林整備の推進を図るためとして、県道小櫃佐貫停車場沿道（荻作地区）の森林整備を行なうと共に、観光名所となっている鹿野山参道桜並木の復元を目的に『ソメイヨシノ』の苗木を2年間で2198本植樹しました。この内君津中央ライオンズクラブは約350本を植えました。



7.5kmの参道を地元自治会と3分割し、中の2.5キロをLCが受け持っております。（なお、鹿野山参道の入り口（福岡口）から山頂までの桜並木は、今上天皇陛下のご誕生を祝って、地元青年団により昭和9年から昭和11年にかけて約1000本の桜が植栽されたものです。）

この鹿野山参道は40年前まではとても綺麗に花が咲き、観光名所となっていました。しかし、桜の木が大きくなり老朽化し、また、

手入れもしておらず、花があまり咲かなくなっていました。そこでライオンズクラブでは、10年前のCN30周年に草に埋もれていた鹿野山参道の碑の周辺の草刈と清掃を行ない、その後も毎年草刈と清掃を行なっております。平成14年からは年3回の苗木の下草刈りを行い、今年は10月予定が延び12月1日に行ないました。朝7時から11時までの間、会長を先頭に賛助会員まで総出で、『ただ今、ライオンズクラブ奉仕中』の旗を立てて、行ないました。



9R2Z

鴨川LC 幹事 L君塚 光良

チャリティーダンスパーティーの開催

恒例になりましたチャリティーダンスパーティー（第12回）が昨年12月15日（水）鴨川グランドホテル2階コンベンションホールにて、午後6時から午後9時まで、多数のご参加（約180名）を頂き開催することが出来ました。参加の皆様は、年1回の当クラブのチャリティーダンスパーティーを心待ちにしている人達がたくさんいらっしゃいました。自慢のシューズ、衣装を身にまとい、自慢のステップを踏んで約3時間楽しんで頂きました。

チャリティーの収益金は特別育英基金へ献金致しました。そして当事業に対して、9R-RCのL早川金光、房総勝浦ライオンズクラブ、館山中央ライオンズクラブ他、9R各クラブの御協賛を頂き心より感謝を申し上げます。毎年チャリティーダンスを楽しみにしている皆様のため今後共、継続事業として続けて行きたいと考えております。



9R2Z

房総勝浦LC 会長 L岩瀬 義信

第29回 房総勝浦LC・勝浦剣友会 共催による青少年育成剣道大会を開催

12月12日（日）、房総勝浦ライオンズクラブでは、県下最大規模の中学校剣道大会を日本

武道館研修センターで実施しました。参加範囲は、県南地区58校、男子女子500余名の選手が、剣道の子理念に基づき真剣に学び、心身を鍛錬し盛大裡に終了致しました。

男子優勝 勝浦中学校

女子優勝 睦沢中学校

その他、青少年育成事業として、房総勝浦LC杯争奪ソフトテニス大会（9R内中学校男女対象）等各種スポーツ大会を実施しております。

また、社会奉仕活動と致しましては、2月6日（日）、特別養護老人ホーム大原シルバガーデンを訪問して、ボランティアの人たちを含め180名と昼食をはさみ、唄と踊りによる慰問を行いました。毎年、梅の花の咲くころにこの慰問の行事を心待ちにしております。

今後とも継続実施してまいりたいと思います。



日本武道館研修センター 剣道大会



房総勝浦LC杯 ソフトテニス大会



特別養護老人ホーム 大原ガーデン慰問

10R1Z

茂原LC 幹事 L山坂 健司

光と色彩のコラボレーション展

茂原ライオンズクラブでは、青少年健全育成事業の一環として、茂原市内の小・中学校の障害児童と生徒、養護施設のこどもたちを招待し、「光と色彩のコラボレーション展」を開催しました。

これは、毎年行っている「ふれあい柿園」が猛暑の影響で柿が不作で開催出来なかったため代替企画として行いました。イベント前日、会場設営をしながら「明日は何人くらい来てもらえるか」といった不安な気持ちもありましたが、当日は天候にも恵まれ、予想以上の方に来場して頂きました。

第一会場では、パート・ド・ベルガラス（フランス語でペースト状のガラスの意味）作家 内田邦太郎氏とステンドグラス作家 平山健雄氏の展示し鑑賞してもらいました。

第二会場では、カレーライス、豚汁等を用意していましたが、品切れになるかと思う位の盛況ぶりでした。



企画展



また、こちらの会場では、音楽に親しんでもらおうということで、声楽家の松坂征一氏によるロシア民謡と、地元の浜太鼓の皆さんによる和太鼓の演奏を楽しんでもらいました。特に浜太鼓の皆さんの好意により、子供たちが実際に太鼓を叩かせて頂きましたが、その時の笑顔は本当に楽しそうでした。アンコールの声が掛かるほど盛り上がり、盛大な拍手の中幕を下ろしました。

終了後、沢山の方々から「今日は楽しかった、ありがとう」という言葉を頂きました。こうした言葉が本当に嬉しく思いますし「また次も」という活力源になると感じました。

今後も、継続事業だけでなく、子供たちとふれ合い、喜んでもらえる事業を企画していきたいと思っています。

10R1Z

上総一宮LC 会長 L田邊 廣昭

クラブ活動報告

【上総一宮LC杯青少年フットサル大会】

CN45周年の記念事業として青少年フットサル大会を平成23年1月9日睦沢町総合運動公園にて開催いたしました。

フットサルとは5人制のミニサッカーのようなものであり、オフサイドなし、選手交代自由、スライディングタックルなどの接触プレーを反則とするルールが工夫されているため、ジュニアから中高年、女性でも気軽に参加できるスポーツとして人気が出てきました。

参加チーム（長生郡市内のスポーツチーム）は、25チームと予想を上回るものでした。さらに小学校4年生以下の子供たちを対象にしましたので父兄の方々や応援の人などが来られ300人を超す皆さんにライオンズクラブのPR（青少年健全育成について）が出来ました。

表彰は、優勝は優勝旗と優勝カップと金メダル。準優勝は銅メダル、3位は銅メダル、参加賞として優勝・準優勝・3位以外の全員に参加メダルを授与いたしました。子供たちの嬉しい笑顔が印象的でした。来年も参加しますとの声が聞かれ、これからの継続が楽しみにになりました。

【薬物乱用防止教室の開催】

平成23年1月24日(月)長生村立一松小学校において薬物乱用防止教室を開催しました。5年生と6年生合計58名が参加され、真剣に聞いておられました。

ビデオテープ放映後、Aポイントの5つのテーマを復習したところ、皆さんよく覚えておりました。講師のL中川の熱心さが皆に伝わったと思います。

子どもたちには輝かしい未来があり、たった一度でも薬物に手を出すことが全て未来が無

くなるのが解ってくれたくれたようです。

次は、3月4日に長生村立高根小学校で開催する予定です。



10R2Z

東金LC 会長 Lー之森 正

一足早いクリスマスプレゼント

平成22年12月14日東金市立「マザーズホーム」の（心身に障害のある）子供たちに一足早いクリスマスプレゼントを届けにメンバー7名で参加しました。当日は、29家族64の参加で大変賑やかな「クリスマス会」でした。

我々メンバーが着たサンタやパンダそしてみんなの大人気のアンパンマンが登場すると最高潮でした、子供たちはうれしくて3人に群がり「抱っこして」「握手して」「一緒に写真とって」と大騒ぎでした。そんな様子を見て家族の皆さん方も、とてもうれしそうでした。子供の成長を心配して心が沈みがちな家族に、ひとときの楽しさと安らぎをプレゼントすることが出来たと感じました。

続いて12月20日(月)東金特別支援学校の全校集会にわれわれメンバー6人のが、クリスマスプレゼントを持って訪問しました。

全校集会の始まりでは、パンダ、くま、うさぎの着ぐるみを先頭に、メンバーが体育館に入場し、その後、校長先生がバンドを組んで音楽を演奏してくれたり、ダンスを踊ったりしました。われわれメンバーも、子どもたちと一緒に跳んだり、はねたりしてダンスを楽しみ、会場を盛り上げました。

最後に、クラブから子どもたちへのクリス

マスプレゼントの時間となり小学部36名、中学部36名、高等部86名のそれぞれの代表に渡しました。プレゼントの中身は、小学部がお菓子の詰め合わせのクリスマスブーツ、中学部がポケモンカレンダーとチョコレート、高等部が文房具セットでした。子どもたちは、体全体で喜んでくれました、われわれも人に喜びを与えられたことに対し、やりがいの充実感を味わい、同時に感謝でした。



10R2Z

大網白里LC 会長 L大矢 操

上半期の活動報告

当クラブの上半期の活動を報告致します。

まず、継続事業ですが、献血、カーブミラー清掃、町内五か所にある忠魂碑の清掃、献花、アイバンク、いのちの電話、町の夏祭り等に寄付を致しました。今期は千葉国体に伴う町の清掃事業、花の苗の育成に協力しました。特別養護施設の房総平和園へ竹炭用の孟宗竹を4トン車一台分を寄贈、青少年関係では、バレーボール大会のPRとして、うちわ1,000本を寄付、青少年育成基金の資金獲得のためのチャリティバザーを行いました。

国際関係では、台湾大有LC、マレーシアのラウブLCに、スポーツ支部のメンバーと式典訪問し、ドネーション、記念品、合わせて40万円の寄贈を致しました。

会員増強につきましては、上半期2名の入会が決定しておりますが、下半期も2名の入会を獲得したいと思っています。





男体山と中禅寺湖



ライオンズクラブ国際協会 333複合地区

第57回 年次大会のご案内



国際会長テーマ *a BEACON of hope* 希望の光

議長テーマ *TRANSFORMER* 変身・進化

大会テーマ **連帯** れんたい

2011年5月21日(土)前夜祭・22日(日)年次大会

ライオンズクラブ国際協会
333複合地区第57回年次大会 大会事務局

〒320-0063 栃木県宇都宮市陽西町1番37号

TEL 028-627-0012 FAX 028-627-0019

E-mail 2011nenjitaikai@md333lions.jp



大猷院

いろは坂

神橋

前夜祭

2011年5月21日(土)

日光国立公園鬼怒川温泉 あさや

〒321-2598

栃木県日光市鬼怒川温泉滝813番地

TEL 0288-77-1111 FAX 0288-77-0643

URL <http://www.asaya-hotel.co.jp>

受付 16:00~18:00

祝賀会 18:00~20:00

登録料 一人 12,000円

宿泊 一人 8,000円 (サービス・税込み、朝食付)

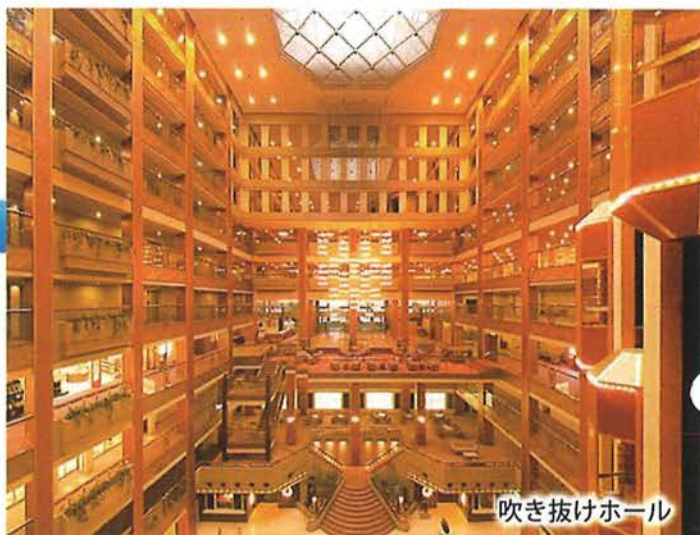


あさや全景

年次大会

2011年5月22日(日)

日光国立公園鬼怒川温泉 あさや



吹き抜けホール

登録料

会員……………2,000円
同伴者……………2,000円
支部会員……………2,000円
家族会員……………1,000円
ライオネス……………1,000円
レオ……………500円

大会スケジュール

代議員受付 8:20~ 9:00
一般会員受付 8:30~10:30
各委員会 9:00~ 9:15
代議員総会 9:20~10:20
大会式典 11:00~12:30
昼食・自由解散 12:30~

登録料振込口座

銀行名：栃木銀行 宇都宮東支店 (普) No.1007409

口座名：ライオンズクラブ国際協会 333 複合地区 ガバナー協議会議長 小野忠博

ライオンズパワーの結集！



2,400人参加の
一大イベント

撮影：L古川 勇
(市原LC)

新造船の漕出式
(銚子市観光商工課提供)



国際レオデー
LC 銚子灯台見学

撮影：L篠 欣克
(銚子中央LC)

元朝の銚子の日の出



銚子市観光商工課 提供

- 発行日 2011年3月20日
- 発行人 地区ガバナー 竹下 徳永
- 編集人 地区PR・情報委員長 深山 孝子
- 発行 ライオンズクラブ国際協会 333-C地区
〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-2
千葉県中小企業会館2階
(tel 043-243-2528 fax 043-247-4756)
- 印刷所 株式会社みつわ
〒261-0002 千葉市美浜区新港213-5